

令和元年度 第1回ゆりはま創生総合戦略会議

日 時 令和元年6月3日(月)

10時～

場 所 湯梨浜町役場 講堂

1. 開 会

2. 委員紹介(自己紹介)

3. 会長・副会長の選出について

4. 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るK P I 及び具体的事業の進捗状況  
と取組状況について・・・資料1～5

5. 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改正について・・・資料6

6. その他

7. 閉 会

## ゆりはま創生総合戦略会議委員名簿

任期：令和元年5月27日～令和3年5月26日（2年間）

敬称略

	区分	役職	氏名	備考
1	産	湯梨浜町商工会	会長	中島 守
2	産	J A鳥取中央	湯梨浜営農センター長	西村 好美
3	産	株式会社 栄進工業	代表取締役	坂田 康則
4	官	湯梨浜町	町長	宮脇 正道
5	学	鳥取看護大学・鳥取短期大学	理事長	山田 修平
6	学	東郷湖・未来創造会議	会長	遠藤 公章
7	学	女性団体連絡協議会	理事	井土 美智子
8	金	山陰合同銀行	羽合支店長	堀本 進吾
9	金	鳥取銀行	羽合支店長	中原 良太
10	金	日本政策金融公庫	鳥取支店事業統轄	武智 徹
11	労	倉吉公共職業安定所	所長	福田 豊
12	労	労働団体の関係者		加藤 一
13	労	労働団体の関係者		岡本 梓
14	言	新日本海新聞社	編集部報道課デスク	石原 美樹
15	公募	男性公募		中森 圭二郎
16	公募	女性公募		佐相 亜友美

17		鳥取県中部総合事務所 中部福祉保健局地域振興局	副局長	小濱 洋明	コンシェルジュ（湯梨浜町担当）
18		湯梨浜町	副町長	亀井 雅議	
19		湯梨浜町	副町長（地方創生担当）	仙賀 芳友	
20		湯梨浜町	教育長	山田 直樹	
21		湯梨浜町総務課	課長	重松 雅文	
22		湯梨浜町議会事務局	局長	山根 薦	
23		湯梨浜町出納室	室長	森 輝信	
24		湯梨浜町建設水道課	課長	斎藤 聡	
25		湯梨浜町産業振興課	課長	西原 秀昭	
26		湯梨浜町企画課	課長	上井 明彦	
27		湯梨浜町町民課	課長	杉原 寛	
28		湯梨浜町子育て支援課	課長	杉原 美鈴	
29		湯梨浜町総合福祉課	課長	竹本 里香	
30		湯梨浜町健康推進課	課長	尾坂 英二	
31		湯梨浜町長寿福祉課	課長	山田 志伸	
32		湯梨浜町教育総務課	課長	岩崎 正一郎	
33		湯梨浜町生涯学習・人権推進課	課長	丸 真美	
34		湯梨浜町中央公民館	館長	宮脇 一善	
35		湯梨浜町立図書館	館長	杉村 和祐	
36		湯梨浜町国民宿舎水明荘	支配人	小椋 誠	
37		湯梨浜町みらい創造室	室長	遠藤 秀光	事務局
38		湯梨浜町みらい創造室	未来創造係長	谷岡 雅也	事務局
39		湯梨浜町みらい創造室	活力創造担当係長	音田 将人	事務局
40		湯梨浜町みらい創造室	未来創造係主事	濱本 怜子	事務局

# 参考資料:湯梨浜町の人口動向

資料1

○平成30年の出生数は前年に比べて大幅に減少し、死亡者数は前年並のため、自然減は前年より増加傾向にある。  
 ○平成30年の町外からの転入は転出を上回っているため、社会増となっているが、県外からの転出入だけを見ると、社会減となっている。

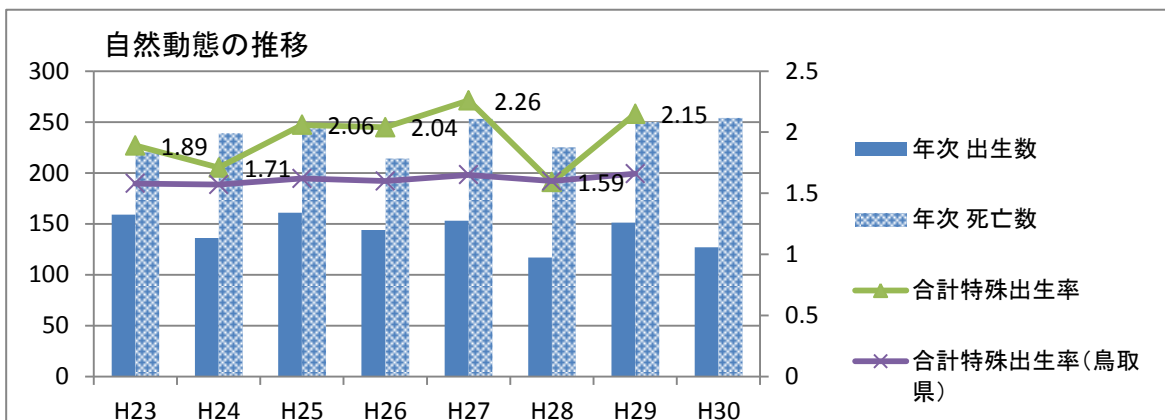
## 1 自然動態の推移

### 【自然動態の推移】

年次	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
自然増減	▲ 61	▲ 103	▲ 83	▲ 70	▲ 100	▲ 108	▲ 99	▲ 127
出生数	159	136	161	144	153	117	151	127
死亡数	220	239	244	214	253	225	250	254

### 【出生数と合計特殊出生率の推移】

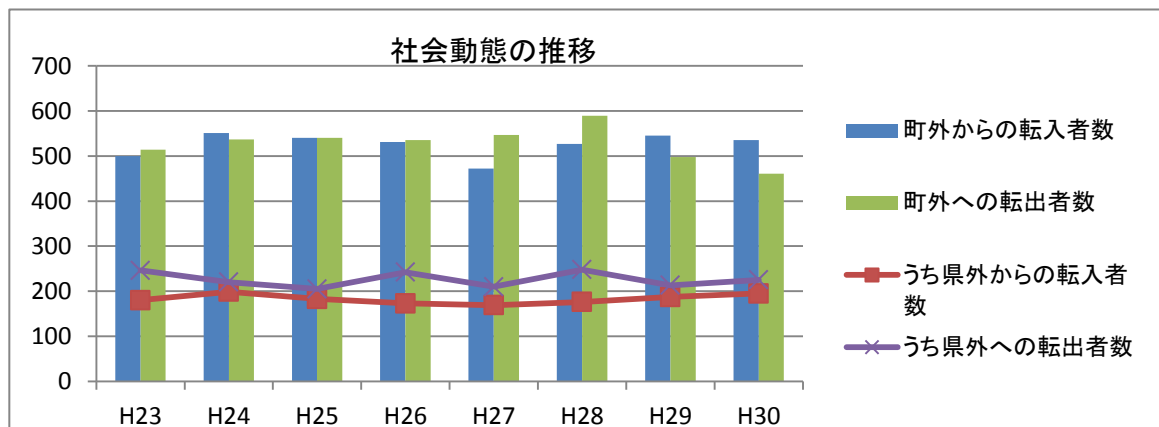
区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
出生数	159	136	161	144	153	117	151	127
前年比	159	▲ 23	25	▲ 17	9	▲ 36	34	▲ 24
合計特殊出生率	1.89	1.71	2.06	2.04	2.26	1.59	2.15	
合計特殊出生率(鳥取県)	1.58	1.57	1.62	1.60	1.65	1.6	1.66	



## 2 社会動態の推移

### 【社会動態の推移】

年次	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
社会増減	▲ 14	14	0	▲ 4	▲ 75	▲ 62	47	74
町外からの転入者数	500	551	540	531	472	527	545	535
町外への転出者数	514	537	540	535	547	589	498	461
うち県外転入増減	▲ 66	▲ 21	▲ 22	▲ 69	▲ 41	▲ 72	▲ 26	▲ 30
うち県外からの転入者数	180	199	183	173	169	176	187	195
うち県外への転出者数	246	220	205	242	210	248	213	225



出典:出生数、死亡数、転入者数…「鳥取県人口移動調査」

合計特殊出生率…人口動態調査(厚生労働省)をもとに県福祉保健課が算出

## 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況

## 1. 取組状況の概要(平成30年度)

取組が達成済あるいは計画どおり以上に進んでいる項目は約6割(61.9%、60/97項目)

評価区分	4年目評価	(参考)3年目評価	(参考)2年目評価	(参考)1年目評価
A: 達成済、事業完了	6	3	1	0
B: 計画以上に進んでいる	5	6	7	21
C: 計画どおりに進んでいる	49	53	58	35
D: 計画より遅れている	37	36	26	18
E: 未着手、未実施、先送りなど		0	2	1
合計	97	98	94	75

## 基本目標の進捗状況

項目		1年目実績	2年目実績	3年目実績	4年目実績	5年目目標値
しごと	温泉宿泊客数	167,885人	157,589人	154,570人	133,110人	20万人(年間)
	新規就業者数(常用雇用)	189人	205人	227人	177人	200人(年間)
ひと	合計特殊出生率	2.04	2.26	1.59	2.15	1.95
	出生数	143人	109人	159人	137人	160人(年間)
まち	県外からのIJUターン者数	177人	176人	189人	185人	850人
	転入転出異動	▲75人	▲62人	47人	74人	H31年度均衡

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

資料3

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

●数値目標(平成31年度)

目標指標	設定の考え方	現状値(H26)	実績				H31目標値	担当課
			H27	H28	H29	H30		
温泉宿泊客数	温泉、食、歴史などの資源やイベントを通じ、町が一体となった観光基盤を充実させ、年間20万人の宿泊客数を目指す。(H25 178,296人、H26 165,940人、H27 167,177、H28 157,589人)	165,940人	167,885人	157,589人	154,570人	133,110人	旅館組合宿泊客数報告による	16万人(年間) 産業振興課
新規就業者数(常用雇用)	町民が町内・町外の企業等に就職した常用の雇用者数(フルタイム、パート)が減少している状況であるが、5年後には新規就業者数年間200人を目指す。(H25 269人、H26 222人、H27 189人、H28 205人)	222人	189人	205人	227人	177人	町民が町内・町外の企業等に就職した常用の雇用者数。倉吉公共職業安定所(ハローワーク倉吉)から情報提供。	200人(年間) 産業振興課

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値(H26)	実績				H31目標値	担当課	
					H27	H28	H29	H30			算出根拠等
農林水産業の振興	○二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進	梨栽培面積	現状維持	180ha	△12ha 【累計】168ha	0ha 【累計】168ha	△6ha 【累計】162ha	△19ha 【累計】143ha	JA、東郷果実部に聞き取り	180ha	産業振興課
	○新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進	梨新品種への改植・新植	新甘泉など新品種への改植・新植を行い、栽培面積を3.5ha増やす(年0.7haの増)	1.5ha	0.18ha 【累計】1.68ha	0.35 【累計】2.03ha	0.47ha 【累計】2.5ha	1.11ha 【累計】3.61ha	補助金を活用した農業者の植栽面積を集計	5.0ha	
	○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓	新規就農者	新規就農者の7名増(年1~2名の増)	8人	1人 【累計】9人	2人 【累計】11人	2人 【累計】13人	1人 【累計】14人	親元就農:1人(福本安志)	15人	
	○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策	認定農業者(家)数	認定農業者件数を13件増(年2~3件の増)	37経営体	4経営体 【累計】41経営体	4経営体 【累計】45経営体	0経営体 【累計】45経営体	2経営体 【累計】47経営体	新規認定:4経営体	50経営体	
	○東郷池や日本海の豊富な海産物を活かした漁業の振興	GIマーク、商標権、意匠権等の取得件数	特産品等の販路拡大につなげるため、商標権等の取得件数を3件増やす	0件	0件	0件	0件	1件	羽合ぶどう(種なしピオーネ、シャインマスカット)に潮騒熟成の商標登録。JA営農センターに聞き取り	3件	
		利用権設定面積	農地の荒廃を防ぐため、利用権設定面積を32.5ha増やす(年6.5haの増)	219.5ha	0.9ha 【累計】220.4ha	26.7ha 【累計】247.1ha	1.2ha 【累計】248.3ha	7.6ha 【累計】255.9ha	農地基本台帳より	252.0ha	
		シジミの漁獲量	シジミの漁獲量を155t増やす(年30tの増) ※H20、21年頃を目指す	45t	49.5t 【累計】94.5t	28t 【累計】122.5t	2.0t 【累計】124.5t	△4.6t 【累計】119.9t	東郷湖漁協 聞き取りによる	200t	
		漁業経営体数	現状維持	49経営体	△1経営体 【累計】48経営体	△1経営体 【累計】47経営体	△2経営体 【累計】45経営体	△5経営体 【累計】40経営体	泊地域 33→30、羽合地域 12→10 合計40経営体	49経営体	

## ●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (H26)	実績				H31目標値	担当課		
					H27	H28	H29	H30			算出根拠等	
観光産業の振興	<p>○「グラウンド・ゴルフ」や「ウオーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進</p> <p>○はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上(滞在型観光・周遊観光の推進)</p> <p>○天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進</p> <p>○観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進(多言語対応、利便性の向上)</p> <p>○戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客</p>	海外からのイベント参加者数	グラウンド・ゴルフ、ウオーキング大会等を開催することにより、1,115人増やす(年223人の増) 現状値55人はH26グラウンド・ゴルフ国際大会の参加者数	55人	■GG 128人 ■ウオーキング 118人 【累計】301人	■GG 64人 ■ウオーキング 106人 【累計】471人	■GG 102人 ■ウオーキング 0人 【累計】573人	■GG 94人 ■ウオーキング 0人 【累計】667人	(グラウンド・ゴルフ国際大会) 韓国60人、モンゴル10人、台湾24人	1,170人	産業振興課 生涯学習・人権推進課 健康推進課	
		海外からのイベント参加国数	グラウンド・ゴルフ、ウオーキング大会等を開催することにより、26か国増やす(年5か国の増) 現状値はアメリカ、韓国の2か国	2か国	■GG 4か国 ■ウオーキング 3か国 【累計】9か国	■GG 5か国 ■ウオーキング 17か国 【累計】31か国 【実参加国累計】19ヶ国	■GG 7か国 ■ウオーキング 0か国 【累計】38か国 【実参加国累計】20か国	■GG 3か国 ■ウオーキング 0か国 【累計】41か国 【実参加国累計】20か国	(グラウンド・ゴルフ国際大会) 韓国・モンゴル・台湾(新規参加国なし)	25か国		
		スッポン出荷数	温泉水を活用して養殖したスッポンの出荷数を2,000匹増やす(年400匹の増)	0匹	0匹	0匹	0匹	0匹	0匹	30年度実績なし		2,000匹
		新規Wi-Fi整備施設数	町内観光施設等へのWi-Fi設置を20件増やす(年4件の増)	0件	7件 【累計】7件	0件 【累計】7件	0件 【累計】7件	0件 【累計】7件	0件 【累計】7件	30年度実績なし		20件
		着地型観光商品利用者数	既存観光商品の推進や新規観光商品の開発により利用者数を1,500人以上とする	533人	446人 【累計】979人	210人 【累計】1,189人	478人 【累計】1,667人	57人 【累計】1,724人	観光協会実績報告より	1,500以上		
商工業の振興	<p>○事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援</p> <p>○地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進</p> <p>○ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進</p>	支援制度を活用した起業数	企業立地補助金やチャレンジショップ奨励金事業等を活用した企業数を7件に増やす(年1件の増)	3件	1件 【累計】4件	2件 【累計】6件	7件 【累計】13件	11件 【累計】24件	30年度実績 ■企業拡充奨励金=1件(川口設備工業有限公司) ■チャレンジショップ支援奨励金=2件(orb hairmake、朴訥) ■雇用促進奨励金=4件(有限会社磯江、合同会社鳥龍舎3件) ■ゆりはまじげ産業育成補助金=3件(須田絵里香、民宿海晴館、有限会社むらさき) ■ふるさと名物応援事業支援補助金=1件(湯梨浜町商工会)	7件	産業振興課	
雇用の推進	<p>○地場産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出</p> <p>○就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進</p> <p>○高齢者の経験や知識を活用した就労の支援(CCRCによるアクティブニアの活用等)</p>	支援制度を活用した雇用者数	雇用促進奨励金事業等を活用した雇用者数を10人以上に増やす(年2人の増)	2人	1人 【累計】3人	5人 【累計】8人	0人 【累計】8人	2人 【累計】10人	雇用促進奨励金(交付決定および支払い)=2件	10人以上		

## 湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

### 基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

●数値目標(平成31年度)

目標指標	設定の考え方	現状値 (H26)	実績				H31目標値	担当課
			H27	H28	H29	H30		
<b>合計特殊出生率</b>	若い世代の人口を維持し、出生率増加を図る。 平成31年度公表(平成30年分)合計特殊出生率1.95を維持する。 H27年度2.04、H28年度2.26、H29年度1.59、H30年度2.15	-	2.04	2.26	1.59	2.15	1.95	子育て支援課
<b>出生数</b>	合計特殊出生率の維持とともに、出生数そのものの増加をめざしながら人口減少克服を目指す。 H25年度156人、H26年度149人、H27年度143人、H28年度109人、H29年度159人、H30年度137人	-	143	109	159	137	160人(年間)	子育て支援課

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (H26)	実績				H31目標値	担当課		
					H27	H28	H29	H30				
子育て環境の推進	○安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進(子育て世代の経済的な負担の軽減) ○妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化を推進 ○放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進 ○子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進 ○地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていくこととするふるさと教育の推進 ○仕事と生活の調和を図るワークライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進	1歳6ヶ月未満児を家庭で子育てする率。	年度末時点において、1歳6か月未満児を家庭で子育てする率を88.4%以上とする。 年間1%増とし、今後3年間で3%増とする。	62.2% (1歳未満児の家庭子育て率)	59.7%	85.4%	86.90%	83.56%	平成30年度は、年度末時点において、1歳6か月未満児のうち、家庭で子育てをしている者の割合とした。 平成31年3月31現在1歳6か月未満児の数は219人。内入園児数36人。差引人数(未就園児)183人。家庭で子育てする率83.56%。	88.40%	子育て支援課	
		第3子以降出産数	年間30人。5年間で150人。	27人	26人 【累計】53人	29人 【累計】82人	35人 【累計】117人	29人 【累計】146人	年度内に祝金の支給決定、支払いした件数。	150人		
		こども園待機児童数	現状維持	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
		自主学习の広場利用者数		土曜日や平日に学校等で学習支援活動や学習の機会を提供。 小学生で年70人、中学生で年25人を目標とし、5年間で小学生280人、中学生で100人の利用者数とする。	小学生 0人 中学生 0人	小学生 0人 中学生 0人 【累計】	小学生63人 中学生18人 【累計】	小学生78人 中学生24人 【累計】	小学生61人 中学生16人 【累計】	自主学习の広場、地域未来塾を利用した小学生及び中学生の利用者数	小学生280人 中学生100人	教育総務課
		故郷で暮らしたい児童の割合(アンケート実施)		アンケートを小・中・高で実施し、故郷で暮らしたい児童(生徒)の割合を70%以上とする	-	59%	未実施	47.8%	54.0%	アンケート調査:12月実施	70%以上	
		鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数		認定企業数を10社増やす(年2社の増)	12社	2社 【累計】14社	0社 【累計】14社	1社 【累計】15社	0社 【累計】15社	認定を受けた事業数	22社	企画課
		地域や個人に密着した健康づくりの推進 ○ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進 ○保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る ○アクティブニアとして、町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進	介護予防・健康づくりリーダー養成者数	5年間で100人を養成(年20人の増)	0人	20人 【累計】20人	23人 【累計】43人	17人 【累計】60人	17人 【累計】77人	介護予防・健康づくりリーダー養成講座修了者数	100人	長寿福祉課
地域福祉の推進		CCRC事業に参画する民間事業者・団体数	参画団体を5年後に27団体以上現在参画団体が23団体あるため、今後3年間で1年に1団体以上、合計3団体以上参画団体を増やす。	0団体	0団体	23団体 【累計】23団体	0団体 【累計】23団体	7団体 【累計】30団体	まちづくり(株)会社出資者、レークサイド・ヴィレッジゆりはま開発事業関連企業数等 まちづくり(株)会社(町を除く)出資者及びレークサイド・ヴィレッジゆりはま開発協力企業 計29団体、CN協会	27団体以上	みらい創造室	
つづく婚りと出会報の提の供場	○結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支援員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進 ○出会いや交流機会が広がるよう、広域連携を含めた出会いの場づくりの推進	結婚支援事業による婚姻件数	縁結び支援員事業等により婚姻した件数を5件増やす(年1件の増)	1件	0件 【累計】1件	0件 【累計】1件	0件 【累計】1件	0件 【累計】1件	増減なし	5件	企画課	

湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

●数値目標(平成31年度)

目標指標	設定の考え方	現状値(H26)	H27 H28 H29 H30				算出根拠等	H31目標値	担当課
			H27	H28	H29	H30			
県外からのIJUターン者数	人口減少に歯止めをかけるため、H27から31のIJUターン者数850人を目指す。	-	177人	176人【累計】353人	189人【累計】542人	185人【累計】727人	男:79人、女:106人(町民課提出の住基データより)	850人(H27~31)	みらい創造室
転入転出異動	人口減少に歯止めをかけるため、H31年度での転入転出の均衡を目指す。	-	△75	△62	47	74	鳥取県統計課「鳥取県人口移動調査」より 転入:535人、転出:461人	H31年度均衡	みらい創造室

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値(H26)	H27 H28 H29 H30				算出根拠等	H31目標値	担当課
					H27	H28	H29	H30			
移住定住の推進	○多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やIJUターンの促進に向け広く本町の魅力を発信 ○若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進 ○空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進 ○移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る。 ○鳥取大学等との連携による「地(知)の拠点COC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る	空き家バンク成約件数	空き家情報バンクを利用して成約した件数を22件増やす(年4件の増)	3件	1件【累計】4件	1件【累計】5件	5件【累計】10件	0件【累計】10件	空き家バンク利用実績 ※H30/バンク利用(内見)5件のうち、1件がH31中に成約見込み。 ※H30新規物件登録3件 H30情報利用希望登録17件	25件	企画課
		若者・子育て世代の移住件数	補助制度を利用して移住した件数を55件増やす(年11件の増)	0件	6件【累計】6件	19件【累計】25件	24件【累計】49件	20件【累計】69件	移住定住者住宅支援事業(2件)、若者夫婦・子育て世代住宅支援事業(16件)及び三世同居等住宅支援事業(2件)を利用した町外からの移住件数	55件	企画課
まちのにぎわい創出や拠点の形成	○町民や団体が主体となって創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援 ○災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進 ○いつでも、誰もが集える拠点を整備するためバリアフリーなど環境づくりを推進 ○分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進するほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る ○地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興 ○ICTの急速な進化がもたらす社会への対応 ○地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進 ○温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用を図る ○環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進するほか、住民参画による行政推進を目指す	新規自主防災組織取組件数	自主防災組織取組件数を10件増やす(年2件の増)	65件	3件【累計】68件	2件【累計】70件	1件【累計】71件	0件【累計】71件	自主防災組織設立実績	75件	総務課
		集会所バリアフリー件数	集会所バリアフリー件数を25件増やす(年5件の増)	0件	3件【累計】3件	6件【累計】9件	4件【累計】13件	3件【累計】16件	国信公民館、藤津集会所、宇谷集会所の3カ所バリアフリー改修完了	25件	総合福祉課
		小さな拠点の数	小さな拠点取り組み地域を1地域増やす	0地域	0地域	1地域【累計】1地域	0地域【累計】1地域	0地域【累計】1地域	平成28年9月に泊地域小さな拠点検討協議会を設立	1地域	みらい創造室
		温泉熱エネルギー利用施設数	温泉熱エネルギーを利用した施設を4施設増やす	0施設	3施設【累計】3施設	0施設【累計】3施設	0施設【累計】3施設	0施設【累計】3施設	増減なし	4施設	企画課
		NPO法人、ボランティアグループの数	NPO法人、ボランティアグループの数を43団体に増やす	36団体	2団体【累計】38団体	0団体【累計】38団体	7団体【累計】45団体	2団体【累計】47団体	増減なし	47団体	企画課



(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
1 湯梨浜町総合戦略策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ◆総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 戦略会議2回開催予定 48千円 ◆報告会、説明会、研修会への参加旅費 604千円 ◆消耗品の購入、郵券料 130千円 平成30年度も引き続き総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。	782	■5月10日に本部会議を開催。H29のKPI、事業の達成状況、H30事業内容等を協議した。 ■6月6日に総合戦略会議を開催。H29のKPI、事業の達成状況、H30事業内容等を協議した。また、総合戦略を改定した。 ■6月議会へH29のKPI、事業の達成状況、H30事業内容、総合戦略改訂について報告。 ■10月29日、本部会議を開催。H30事業進捗状況等を協議 ■12月6日総合戦略会議を開催。H30事業進捗状況、H31実施方針等を協議。	208	総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 予定通り会議を開催している。 ①総合戦略会議2回開催:2回/1回=100% ②成果検証会議1回開催:1回/1回=100% (①+②)/2=100%	みらい創造室
2 農産物販路拡大及びブランド化推進事業	二十世紀梨販路拡大PR事業 進物用パンフレットを見てJA等の生産者や役場に問い合わせをしてきた消費者が増えていることから、販路拡大につながるようパンフレットの作成を支援するもの。 【補助率】1/3以内 H28にパンフレットを大量(10万部)に印刷したため、H29は消費者の反応等を収集する期間とし、H30にそれらデータを見直しを協議し・新パンフレットの作成を行う。 ◆補助金(パンフレット作成支援) 306千円	306	30年度産PRは在庫で実施。次年度向けのパンフレットを本事業により新デザインで作成するよう進めていたが、31年度に有利な県の補助事業を活用して作成するよう方針を変更した。	0	梨の平均単価の単価増(最終的には全品目で+100円/10kg)	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 全体の出荷量が前年比87%に減ったが、二十世紀梨の単価は前年比109%の+356円、梨全体の平均単価は、前年比109%の+370円であった。	産業振興課
3 鳥取県等生産振興事業(農業生産現場強化事業)①	鳥取県が新規栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援するもの。 ◆補助金 7,308千円 内訳:生産基盤対策 54千円、連棟ビニールハウス導入 6,000千円、果樹棚導入 1,160千円、育成促進対策 94千円	7,308	JAから町への補助事業実績によるシャインマスカット 28本 10.3aの新植及び果樹棚、ハウスの整備 1件 総事業費 9,851,363円に対して6,394,184円(県費4,887,347円 町費1,506,837円) 対象者:2名	6,394	新品種(輝太郎、シャインマスカット)の新植面積の50a増	20%	【評価:D 計画より遅れている】 柿の新品種の新植は目標50aに対し0aであったが、シャインマスカットの増を加味して達成率20%とする。 10a/50a=20%	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
4 鳥取梨等生産振興事業(農業生産現場強化事業)②	<p>・鳥取梨生産振興事業(地方創生) 【事業内容】県が注力している新品種(新甘泉、秋甘泉、王秋)を中心に栽培に必要な資材(苗木、土壌改良剤等)・施設(果樹棚、かん水施設、園内道、SSなど)の整備を支援。 【補助率】新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存の品種が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6) 【対象者】町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合 ◆補助金 14,265千円 内訳:新植補助 865千円、省力化機械導入補助 2,400千円、かん水施設補助 1,200千円、園内道整備補助 400千円、多目的防風網整備補助 2,800千円、パイプ棚整備 200千円、果樹棚整備補助 3,300千円、育成奨励金 1,400千円、低コスト・体制強化事業 1,700千円</p>	14,265	<p>JAから町への補助事業実績による 【総事業費】 13,757千円 【補助金】 9,194千円 【事業費の内訳】 防除用機械 2,100千円、新植 2,049千円、改植 157千円、特許料 121千円、果樹棚 2,283千円、網掛け 2,039千円、棚 103千円、排水施設 999千円、防蛾灯541千円、育成促進奨励金 862千円、省力化機械SS導入 1,970千円等</p>	9,194	対象農業者による省力化防除面積の20%増	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 対象農業者2名の経営面積計 331a 事業による省力化増面積 271.7a 増面積割合 271.7a/331a=82% 82%>20%	産業振興課
5 東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業	<p>【地方創生推進交付金】 (H27からの先駆型継続事業)後継者のいない梨園を借りて梨を栽培し、産地の維持に寄与するとともに規格外の梨を加工品用に出荷する等で6次産業化を目指す取り組みに対して支援。 【補助金】2,000千円(定額) 【事業者】東郷梨地域連携栽培プロジェクトチーム(産官学農福による連携プロジェクト)</p>	2,000	<p>今年度の梨プロジェクト収穫実績 【面積】70a 【生産数量】25,003玉 【売上げ】2,008千円</p>	0	梨栽培面積30a増	90%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 プロジェクトチームによる梨栽培面積 H27 28a H28 38a H29 43a H30 70a(27a増) 27a/30a=0.9	産業振興課
6 二十世紀梨を守る事業	<p>【地方創生推進交付金】 県事業の対象とならないオリジナルの二十世紀梨の苗木やハウス二十世紀梨の資材(苗木など)、ハウスの機能強化・強度向上に対して支援を行う。 【補助率】 1/2 【対象者】 町内で二十世紀梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合 ◆補助金 1,578千円 内訳:苗木・栽培資材支援 78千円、ハウス更新、機能向上支援 1,000千円、果樹棚、かん水施設設置支援 500千円</p>	1,578	<p>JAから町への補助事業実績による 生産者がハウス二十世紀梨生産設備の補強材、被覆資材、灌水施設の改良を実施した。 【事業費】 総事業費 2,775千円(税込) 補助金 1,284千円(税抜対象事業費の1/2) 【生産者】7人</p>	1,284	新植またはハウス梨の機能向上面積を50a以上の増とする	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 計画的にハウス二十世紀梨栽培の機能強化、強度向上につながっている。 ハウス梨機能向上増面積149a(7名) 149a>50a	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
7 湯梨浜版担 い手認定	<p>○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金：就農3年以内の対象者に定額30万円、④ ○新規就農者住宅家賃補助：町外から転入する就農者に家賃の1/2(上限2万円)を補助、③・④ ○中古機械導入補助：中古機械導入費の1/3(上限10～50万円)を補助、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助：農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5～30万円)、①・②・③・④・⑤</p>	3,240	<p>○担い手認定件数 準認定新規就農者 0件 準認定農業者 0件 ○担い手ステップアップ支援事業活用実績 ①奨励金 0件 ②家賃補助 1件(80千円) ③中古機械導入 4件(1,377千円) ④機械修理 12件(1,063千円)</p>	2,520	<p>準認定新規就農者：1人増 準認定農業者：2人増</p>	0%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】 準新規就農者又は準認定農業者の認定には至っていないものの、新規就農相談7件のうち2名が認定新規就農者に向けて研修中である。また、認定農業者を新たに4人認定した。</p>	産業振興課
8 中核的担い 手農家育成 奨励金交付 事業(農業 生産現場強 化事業)	<p>【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受けした場合、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けした場合も対象としている。 町内者：2,000円/10a×年 町外者：1,000円/10a×年</p>	1,282	<p>○対象者及び面積 20経営体、16.1ha</p>	1,132	<p>権利設定面積 8ha</p>	100%	<p>【評価：B 計画以上に進んでいる】 認定農業者への集積は順調に進んでいる。 16.1ha&gt;8ha</p>	産業振興課
9 知的所有権 取得支援	<p>○知的所有権取得支援事業 知的財産権(登録商標、GIマーク、意匠権など)の申請・取得を希望する事業者に対して経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限15万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金150千円×1団体=150千円</p>	150	<p>GI取得については、JA営農センターと農政局に出向き「東郷梨」について協議を行ったほか、二十世紀梨を大切に育てる町づくり委員会にて視察研修を行うなど生産者団体の実態や認定に向けた課題等を調査した。 商標登録については、羽合ぶどうについてJAが商標登録を取得した。(別事業により本事業による補助金交付なし)</p>	0	<p>新規取得：1件</p>	100%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】 東郷梨のGIマーク取得について、課題の整理を行うとともに、羽合ぶどうの商標登録をJAが取得した。 新規取得1件</p>	産業振興課
10 パッケージ デザイン作 成助成事業	<p>○パッケージデザイン作成助成事業 町内で製造された農産物の販売、または町内産の原料糖を使用した加工品を製造販売する際に必要な、商品のパッケージデザインを新たに行う事業者に対し、経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限8万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金 80千円×1団体=80千円</p>	80	<p>新商品1件 梅加工品のラベルシール作成の支援</p>	31	<p>新規作成：1件</p>	100%	<p>【評価：C 計画どおりに進んでいる】 梅加工品のラベルシール作成支援 1件</p>	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
11 砂丘農業復活プロジェクト事業	羽合砂丘地(畑)において、農地中間管理事業を活用し、(農)みどり生産組合に5haの農地を権利設定を行うよう事業推進する。生産作物は芝(米産、ティフグランド)。また、次に規模拡大する場合、地権者との協議を実施する。 ・27年度に8ha利用権設定 ・29年度に2.1ha利用権設定 ・30年度は引き続き残り2.9haを提示することを目標とする。	0	今年度の利用権設定面積は0ha。芝の追加需要が少なく、規模拡大が図れなかった。現在27年度と29年度に利用権設定した農地において9.6haの芝生産が行われている。うち7.6haで生産されるティフグランド種は、WCラグビー会場(熊谷)でも使用されることが決定している。	0	耕作者への利用権設定提示面積 2.9ha	0%	【評価:D 計画より遅れている】 耕作者への利用権設定提示面積0ha	産業振興課
12 種苗放流支援事業	○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 274千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 266千円	540	東郷湖漁協からの申請あり ○東郷湖漁協漁業振興費補助金 総事業費 1,483千円 274千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 総事業費 898千円 補助金 299千円 ※コノシロ処理、台風による流木処理にかかった経費を追加支援	573	シジミ漁獲量 30t増	0%	【評価:D 計画より遅れている】 シジミ漁獲量 H27 94.5t H28 122.5t H29 124.6t H30 119.9t(4.7t減) ▲4.7t < 30t	産業振興課
13 沿岸漁業活性化推進事業	町内の漁業者が省エネルギー化により漁業経営改善を図るために、省エネ型エンジンを購入するための経費に対して補助支援する。	0	中部漁協から、1件の省エネ型船外機エンジンの導入希望があり、補正対応により助成した。	199	省エネ型エンジン搭載漁船:1隻増	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 省エネ型エンジン導入助成 1隻	産業振興課
14 海の駅とまりブランド化事業	【地方創生推進交付金】 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通して目標の達成を目指す。 ◆補助金 2,800千円 内訳:ブランド構築のためのコーディネート業務 1,800千円、新商品製造販売支援 1,000千円	2,800	◆補助金 ・ブランド構築のためのコーディネート業務=1,800千円(交付決定額)、600千円(概算払い済み額) ・新商品製造販売支援=0円 ⇒申請予定の事業者が、本業の事業見直しなどを行うことになったため。	1,800	オリジナル商品の開発:3件	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 海の駅とまり協議会員で4商品を開発。 ・湯梨浜振興=ひらめ井、ひらめラーメン ・民宿海晴館=地元産品を使用したパン ・泊地域の食、クラウド・ゴルフ、海の遊びをセットにしたフェス 商品開発4件>3件	産業振興課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
15 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進①	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化に向け、プロモーションDVDの多言語化を推進する。H30年度はドイツ語、フランス語、イタリア語の3言語版を追加。 ◆多言語DVD作成委託料 551千円 ◆筆耕翻訳料 216千円	767	◆多言語DVD作成委託料=389千円 ◆筆耕翻訳料=45千円	434	推進交付金(H30.3月) ①海外からのイベント参加者数190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	25%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ドイツ語、フランス語、イタリア語の3言語分のDVDが完成。 ※目標に対する評価については17と同様	産業振興課
16 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進②	グラウンド・ゴルフの国際化及び潮風の丘聖地化に向け、潮風の丘の施設等整備を行う。 ◆潮風の丘とまり2コースの芝生の改設 58,699千円 ◆レストラン外構工事 2,970千円 ◆施設内外の看板再整備 3,503千円	65,172	◆芝生改設工事=49,477千円 ◆レストラン外構工事=2,754千円 ◆観光案内看板整備=3,302千円	55,533	推進交付金(H30.3月) ①海外からのイベント参加者数190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	25%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 芝生改設(イン・岬コース)、レストラン外構工事、看板整備が完成。 ※目標に対する評価については17と同様	産業振興課
17 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進③	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化のため、PR活動・実行委員会を通じた国際大会の開催・国際組織設立に向けた検討・用具海外販売促進を実施する。 ◆PR活動4,077千円 ◆国際大会関連3,730千円 ◆国際組織設立検討1,063千円 ◆用具海外販売促進2,700千円	11,570	◆PR活動2,030千円 海外PR: モンゴル、マレーシア、韓国・済州、中国・上海を訪問 8か国に用具を贈呈 ◆国際大会関連4,030千円 実行委員会2,830千円交付 参加者宿泊費助成1,200千円 ◆国際組織設立検討536千円 町国際大会や、モンゴル、中国・上海での国際大会時の参加国代表者会議で設立賛同を呼びかけた。日本GG協会が主導し、規程集を作成した。 ◆用具海外販売促進1,955千円 12月に湯梨浜まちづくり(株)が海外販売を開始。2か国から受注し、1か国に販売した。併せて当社を通じて中古のクラブ634本、ボール413個回収し、9か国にそれぞれ358本、346個を贈呈した。	8,551	推進交付金(H30.3月) ①海外からのイベント参加者数190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国	25%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ①H30.5GG国際大会: 海外からのイベント参加者数94人 ②H30.5GG国際大会: 海外からのイベント新規参加国数0か国 ※本年度初めて、国際大会の日程を変更したため、参加者数等の減少につながったと思われる。 ①94人/190人≒50% ②0カ国/2カ国=0% (①+②)/2=25%	みらい創造室

事業名	計画		実績		KPI		担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		評価
18 ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進①	<p>【地方創生推進交付金】 町の認定したウォーキングコースを生かし、国内外の交流人口増加と地域活性化を目指す。 ・ゆりはま天女おもてなしウォーク (実行委員会補助金) 湯梨浜町ウォーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。 ●実行委員会補助金 ・PR経費(チラシ・ポスター作製他) 1,450千円 ・海外プロモーション 2,616千円 ・オルレ負担金 2,000千円</p>	6,066	<p>◆ゆりはま天女ウォーク 10/14開催 参加者388名 ◆多言語版ウォーキングマップ作成 日本語4,000部、英語1,000部、韓国語1,000部 作成委託費 993千円 ◆ウォーキングリゾート推進による韓国(済州島)への訪問 11/6~11/8 特別旅費 226千円 消耗品 9千円</p>	1,228	<p>推進交付金(H30.3月) ①海外からのイベント参加者数 190人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国</p>	25%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 ①海外からのイベント参加者数 0名(天女ウォーク) 【参考数値】 ・未来ウォーク 12名 ・100キロウォーク 16名 ・ガストロノミーウォーキング 2名 (いずれも町内を通過するコースのみ計上) ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国(韓国・台湾) ※目標に対する評価については17と同様</p>	健康推進課
19 アロハカーニバル事業【I:③商工業の振興にも掲載あり】	<p>本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風にアレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、スタンプラリー等の誘客関連の取り組みを行い、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: オープニングイベント 300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等) 505千円 イベントPR費用 650千円 事務費50千円 計1,505千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円</p>	1,250	<p>◆補助金交付 1,250千円 H30.7.7 オープニングイベント 大雨で中止 H30.7.7~8.15 19店舗で限定メニューを提供 H30.7.7、7.8 ハワイアンフェスティバルでイベントPR及びコナコーヒー販売 H30.8.25 ガイナーレ鳥取湯梨浜ホームタウンデーでコナコーヒー販売</p>	1,250	<p>①新メニュー提供店舗数:15店舗以上 ②新メニュー提供数:2,000食以上</p>	100%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 7月7日に予定していたオープニングイベントは大雨のため中止となったが、7月7日から8月15日まで、どんぶりやスイーツなど限定メニューを提供した。 ①提供店 19店舗&gt;15店舗 100% ②提供数 2,890食&gt;2,000食 100% (①+②)/2=100%</p>	産業振興課
20 天女のふる里づくり事業①	<p>・東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」として5か年計画で実施してきた事業の一層の伸展に向け、①緑化・植花の取り組み、②天女を活用した観光振興の二つを柱とした東郷湖を中心とする活性化事業について重点的に進めていく。地域おこし協力隊を1名任用し、事業推進にあたる。 ◆非常勤職員報酬 1,992千円 ◆社会保険料 326千円 ◆委員報償費等 196千円 ◆委員旅費 128千円 ◆消耗品 20千円 ◆通信運搬費 20千円 ◆交付金 1,674千円</p>	4,536	<p>①地域おこし協力隊を2月から配置し、緑化推進に着手した。地域のボランティア団体とともに天女桜の環境整備活動を行った。 また、緑化事業に対する補助制度を新たに制定した。 ②天女を活用した観光振興策として、ゆりりんを活用したAR(augmented reality)(拡張現実)による情報提供を開始、また、新たにゆりりんマスコットを製作、販売を開始した。※産業振興課対応 ◆非常勤職員報酬 332千円 ◆社会保険料 9千円 ◆委員報償費等 57千円 ◆通信運搬費 7千円 ◆交付金 428千円</p>	833	<p>①緑化・植花の取組:2件 ②天女を活用した観光振興策:2件</p>	100%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 地域おこし協力隊の任用が2月となり、当初計画から大幅に遅れたものの、目標は達成。 ①2件/2件 ②2件/2件</p>	企画課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
21 天女のふる里づくり事業②	・天女のふる里づくり事業 天女を活用したまちづくりの一環として関係自治体へのイベント参加交流を実施するほか、これまで取り組んできた植樹等の事業の成果(経過)を情報発信する。 ◆イベント参加旅費 197千円 ◆消耗品 75千円 ◆通信運搬費 10千円 ◆モニュメント保険料 3千円 ◆高速道路使用料等 13千円	298	・「羽衣天女」「波のかたち」モニュメント建物災害共済分担金 3千円 ・宙ユリ、ハナミズキの開花情報の発信 ・宇宙桜開花(町観光協会広報誌) マスコミ等への資料提供等 0千円 ・天女関連自治体イベント参加 8/5京丹後市(フェスタ飛天)※産振課対応 10/23関空・天女関連自治体合同PR 11/23高石市健幸フェスタ ◆イベント参加旅費 35千円 ◆モニュメント保険料 3千円 ◆高速道路使用料等 24千円	62	①イベント参加:2回 ②花関連情報発信:3回	83%	【評価:D 計画より遅れている】 ①当初計画していた「第3回天女サミット」は開催地の事情により今年度の実施中止となったものの、目標の2回は達成。 ②花関連の情報を町で直接実施したものは2回に留まった。 ①2回/2回=100% ②2回/3回=66.7% (①+②)/2=83%	企画課
22 天女のふる里づくり事業③	・宇宙(そら)桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29に実施。宇宙の桜=「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹1年目) ◆旅費 77千円 ◆消耗品 70千円 ◆使用料 31千円 ◆原材料費 33千円	211	■第2回宇宙桜関連サミットへの参加(5/20兵庫県淡路市開催) ・高知県仁淀川町訪問交流(3/26~27) ◆旅費 77千円 ◆消耗品 44千円 ◆高速道路使用料14千円 ■桜坂プロジェクト(地元団体)と連携した天女桜植樹地の環境整備作業の実施(6、7、9、3月の4回) ■宇宙桜周辺への花苗の植栽 ◆原材料費 30千円	165	宇宙桜に関連した取組:3回	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 5回/3回=167%→100%	企画課
23 天女のふる里づくり事業④	・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆積立金 1,000千円	1,000	■積み立ては4/25に実施(予定)2,190千円	2,190	寄付金額を100万円とする。	100%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 引き続き機会を捉えてPRを行っていく。 219万円/100万円=100%	企画課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
24 天女のふる里づくり事業⑤	<p>・町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」の活用を進める。</p> <p>◆ぬいぐるみ作成委託料 486千円 ◆ノベルティ等作成 255千円 ◆旅費、メンテナンス、通信運搬費等 189千円</p>	930	<p>◆フェスタ飛天2018in京丹後旅費 31千円 ◆ノベルティ(ふせん)製作委託料 91千円 ◆ノベルティ(シール)作成費 97千円 ◆着ぐるみメンテナンス 54千円 ◆ぬいぐるみ製作委託料 486千円</p>	759	<p>デザイン活用45件 着ぐるみ活用45件</p>	77%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 年度途中まで目標を上回るペースで申請があったが、最終的には達成できなかった。 ◆デザイン活用 40件 ◆着ぐるみ活用 29件 計69件/計90件=77%</p>	産業振興課
25 水明荘経営改善事業	<p>国民宿舎水明荘は年々宿泊客数、休憩客数が漸減している。交流人口の増大を目指し、地域のモデルとなるべく、経営の専門家に依頼し、現状調査・分析を行うことで、問題点の明確化を図り、改善に向けた具体案を作成し、経営改善に向けた取組強化を行うことにより、宿泊客等をはじめとする観光入込客数を増やし、温泉地の振興及び町の活性化を図る。</p> <p>◆経営アドバイス等研修講師謝金 173千円</p>	173	<p>◆経営改善事業報償費 173千円</p> <p>最大3年の経営改善期間として取り組み始めて3年目であり、これまでの総決算として経営の専門家が経営状態について分析。「今後の方向と対策」「今後の在り方について」「3年間のとりまとめ報告書」等について報告及び提出を受けた。</p>	173	ネット評価:4.2以上	100%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ◆3月末じゃらん評価 4.2 4.2≥4.2(100%)</p>	産業振興課
26 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	<p>・鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県蒜山地域の連携を深め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。</p> <p>◆会費 531千円</p>	531	<p>◆H30年度会費 531千円</p> <p>鳥取県中部エリア 主要観光施設入込客数 794,639人 (H30年4月～H31年1月期)</p> <p>外国人宿泊者数 24,319人 (H30年4月～H30年12月期)</p>	531	<p>推進交付金 中部エリア (H31.3) ①年間観光入込客数 100,000人 (H30増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(H30増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人 (H30増加分)</p>		<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 中部エリアの各入込数は、現段階で未発表</p>	産業振興課



事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
27 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	<p>【地方創生推進交付金】 中部地域及び岡山県蒜山地域の観光プラットフォーム機能を充実させて次の事業を実施する。 広域観光連携推進事業負担金 22,000千円 おもてなし、受入環境整備事業 温泉地イメージ戦略事業 情報発信事業 プロモーション推進事業 誘客戦略事業 ◆湯梨浜町負担金 3,604千円</p>	3,604	◆H30年度負担金 3,604千円	0	<p>推進交付金 中部エリア(H31.3) ①年間観光入込客数 100,000人(H30増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(H30増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人(H30増加分)</p>		<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 中部エリアの各入込数は、現段階で未発表</p>	産業振興課
28 教育旅行のメニュー開発事業	<p>教育旅行商品の企画造成を行う。 ◆町観光協会補助金 9,761千円</p>	9,761	◆町観光協会補助金交付9,761千円 教育旅行視察受け入れ9件 (ドラゴン8件、Gゴルフ4件 重複あり)	5,000	2年後の修学旅行等の予約:10件	100%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 R2年度の状況 ◆予約数:11件 11件/10件=100%</p>	産業振興課
29 〈再掲〉 海の駅とまりブランド化事業 【I:①農林水産業の振興にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通して目標の達成を目指す。 ◆補助金 2,800千円 内訳:ブランド構築のためのコーディネート業務 1,800千円、新商品製造販売支援 1,000千円</p>	2,800	◆補助金 ・ブランド構築のためのコーディネート業務=1,800千円(交付決定額)、600千円(概算払い済み額) ・新商品製造販売支援=0円 ⇒申請予定の事業者が、本業の事業見直しなどを行うことになったため。	1,800	オリジナル商品の開発:3件	100%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 海の駅とまり協議会員で4商品を開発。 ・湯梨浜振興=ひらめ井、ひらめラーメン ・民宿海晴館=地元産品を使用したパン ・泊地域の食、グラウンド・ゴルフ、海の遊びをセットにしたフェス 商品開発4件&gt;3件</p>	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
30 ゆうゆうゆりはま事業	<p>【地方創生推進交付金】 女性が輝き、主役となるまち湯梨浜を外部に向けて発信するため、様々な分野で活躍する女性を3つの「ゆうゆう(悠々・優々・遊々)」で表現し、町の魅力アップや産業振興のツールとして活用する。</p> <p>◆イメージアップ業務委託料 12,663千円 ◆ブランド化業務委託料 4,860千円 ◆都市圏でのPR業務 7,722千円</p>	25,245	<p>◆湯梨浜町地域活性化支援業務 22,400千円 H30.4.15 ゆうゆうゆりはまお披露目会 H30.9.14 ゆうゆうゆりはまサミット(東京都) ポスター作成個人15種、全体2種、再版45種 人物紹介冊子1000部、まち紹介冊子1,000部 オリジナルコーヒー開発、HP作成ほか</p> <p>◆都市圏における広報業務 2,569千円 首都圏JR主要6駅広報ポスター掲出 (東京、秋葉原、新宿、池袋、大宮、横浜) H31.3.18~3.31(2週間)</p>	24,969	新規就業者数 (常用雇用者数) 200人(年間)	88.5%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 広報用ポスターや地域紹介冊子を作成するとともに首都圏主要駅でのポスター掲出や地域情報発信イベントを開催し、町の魅力発信を積極的に実施した。 新規就業者数:177人 177人/200人=88.5%	産業振興課
31 食と健康のまちづくり事業	<p>【地方創生推進交付金】 タニタヘルスツーリズムの展開 ・ウォーキングステーション飲食店とタイアップした健康計測機設置やタニタ監修メニューの提供 ・町外者参加のスポーツ大会等でのタニタ監修メニュー弁当の提供 ◆タニタヘルシーツーリズム業務委託料 3,200千円</p>	1,728	<p>◆ヘルシーツーリズム展開業務 1,080千円 健康メニュー監修×9品目 広報用のぼり作成70本</p> <p>◆健康プログラム導入業務委託料538千円 事務費(出張旅費等)按分</p>	1,618	【目標】 ヘルスツーリズム参加者数(監修メニュー提供数) 500人	0%	【評価:D 計画より遅れている】 事業着手が10月で、メニュー完成は3月となり、年度内の提供開始ができなかった。6月には9メニューの提供が始まる。	産業振興課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
32 ゆりはまじげ産業支援事業	町内での起業や新事業に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 3,000千円×1事業者	5,551	◆補助金 ・町内旅館と連携したエステ開業支援=2,514千円(確定額) ・民宿がパン販売を開始するための菓子製造業取得支援=323千円(確定額) ・県産農産物を使用したジェラートの販路開拓支援=2,713千円(確定額)	5,550	起業や新事業への取り組みの支援1件	100%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 予定より多くの3事業者の事業を支援した。 3件/1件=300%→100%	産業振興課
33 チャレンジショップ支援事業【I:④雇用の推進にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆賃借料補助金 840千円 内訳:新規1件 480千円、継続2件 360千円	840	◆補助金 ・継続1件=270千円(支払い済み額) ⇒居酒屋なかちゃん(飲食店、はわい長瀬) ・新規2件=215千円(支払い済み額) ⇒orb hairmake(理容業、久留)、朴訥(小売業、旭)	485	新規申請2件	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 相談を受けた3件のうち2件の事業を支援した。 新規申請2件≥2件 100%	産業振興課
34 〈再掲〉アロハカーニバル事業【I:②観光産業の振興にも記載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風アレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、スタンブラリー等の誘客関連の取り組みを行い、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: オープニングイベント 300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等) 505千円 イベントPR費用 650千円 事務費50千円 計1,505千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	1,250	◆補助金 ・交付決定4件(H30支払い1件=200千円、H31支払い3件=600千円予定)	200	①新メニュー提供店舗数:15店舗以上 ②新メニュー提供数:2,000食以上	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 7月7日に予定していたオープニングイベントは大雨のため中止となったが、7月7日から8月15日まで、どんぶりやスイーツなど限定メニューを提供した。 ①提供店 19店舗>15店舗 100% ②提供数 2,890食>2,000食 100% (①+②)/2=100%	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
35 ふるさと名物応援事業	<p>国の補助金を活用した4事業者が、ふるさと名物関連商品の販売とその販路開拓を進める。加えて、国の補助対象とならなかった事業を町として支援し、ふるさと名物のさらなる普及に努める。</p> <p>◆補助金 150千円×2事業者=300千円</p>	300	◆補助金 ・1件68千円	68	4事業者のフォローと町補助制度による支援	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 4事業者との調整を図り事業推進を支援するとともに、ウォーキング観光商品開発に向け、専門家のアドバイスを受ける事業を支援した。 4事業者/4事業者=100%	産業振興課
36 環境創出プロジェクト事業	<p>町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を目指す。</p> <p>◆対象事業費3,237千円(委託料:生ごみリサイクル活用事業)</p>	3,388	生ごみ収集および支所での液肥配布は順調に実施した。役場本庁舎への液肥配布タンクを11月から稼働させた。また、研究の末、竹粉を液肥に混合することで、液肥の臭気を排除した商品(=Takeco)を開発することにも成功し、農協を中心に市場販売開始した。広報や愛らぶ東郷池イベント等でTakecoのPRを実施した。生ごみ回収協力10区へ謝礼と事業紹介を兼ねてTakecoを配布し、事業継続の気運高揚を図った。	3,193	生ごみ回収協力区の拡大 H29末 10区 ⇒ H30末 11区以上	91%	【評価:D 計画より遅れている】 町報や区長会で生ごみ回収協力区を募ったが、H30年度の応募区は0件であり、現在10区である。 10区/11区=91%	町民課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
37 看護師、保育士奨学金助成事業 (ふるさと奨学金支援助成事業) 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭。 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆無利子:180千円 ◆有利子:135千円	90	7/3制度の周知のため、県助成金の対象者に対し、湯梨浜町の制度チラシを同封したDMを県に送付いただいた。 既交付決定者の2名に交付した。	90	申請者6人	0%	【評価:D 計画より遅れている】 就職の内定時期を踏まえて周知を図っていきたい。 0人/6人=0%	教育総務課
38 〈再掲〉 チャレンジショップ支援奨励金 【Ⅰ:③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆賃借料補助金 840千円 内訳:新規1件 480千円、継続2件 360千円	840	◆補助金 ・継続1件=270千円(支払い済み額) ⇒居酒屋なかちゃん(飲食店、はわい長瀬) ・新規2件=215千円(支払い済み額) ⇒orb hairmake(理容業、久留)、朴訥(小売業、旭)	485	新規申請2件	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 相談を受けた3件のうち2件の事業を支援した。 新規申請2件≥2件 100%	産業振興課
39 雇用促進奨励金事業①	・雇用促進奨励金 新たに町内在住者が町内の事業所で正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。新規雇用1人あたり200千円(新卒者は300千円)。 ◆200千円×5名分=1,000千円	1,000	◆補助金 ・計画認定4件(H30支払い1件=200千円、H31支払い3件=600千円予定)	200	新規雇用者5人	80%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 4人の新規雇用を支援した。 4人/5人=80%	産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
40 雇用促進奨励金事業②	<p>・県中部雇用促進奨励金事業 新たに町内在住者が中部圏域内の県企業立地事業補助金の対象となった事業所で正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。新規雇用1人あたり300千円。中部圏域市町が連携して取り組む事業(各市町で補助要綱作成)。 ◆300千円×3名分=900千円</p>	900	<p>◆補助金 ・交付決定2件(3人新規雇用)=900千円(交付決定額、支払い済み額)</p>	900	新規雇用者3人	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 3人の新規雇用を支援した。 3人≥3人 100%	産業振興課
41 就職関連情報提供事業	<p>県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する県制度の活用を進める。</p>	0	<p>県制度により就職に関する説明会、相談会やインターンシップの情報を提供している。新たに県立ハローワークの出張所として、月1回、総合相談センターどれみでの就職関連情報提供を始めた。</p>	0	町内のUターンや定住を進めるため、県制度を活用して情報提供を行う。	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 県制度活用による情報提供を進めた。	産業振興課
42 中部圏域への企業誘致推進事業(広域連携)	<p>圏域の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、関西事務所などを活用して情報提供を行う。</p>	0	<p>・定住自立圏の取り組みとして1市4町で進めているが、進展がない状態。 ・町独自の企業誘致用地等登録事業により未利用資産情報をホームページで公開し企業誘致を進める制度を設けているが活用がない。</p>	0	情報提供している町内工業団地への企業進出数 1件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 情報提供している町内工業団地への企業進出数 0件 < 1件	産業振興課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
43 家庭子育て支援事業	低年齢児(満1歳6カ月未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満1歳6カ月に満たない乳幼児を、昼間家庭で子育てをする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆6,561千円/3カ月×4回=26,245千円	26,245	昨年度からの継続支給対象者へは個別の案内を送り、周知を行った。 妊娠届、新生児訪問時に制度の説明を行い、申請時期の周知に努めた。 H30申請受付:125件、支給決定:119件	25,771	年度末時点で1歳6か月未満児の家庭での子育て率を87.4%以上とする。	95.7%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 家庭での子育て率83.6% (対象児219人、就園児36人) 対象児が変わっていくため、今後入園率が下がり、家庭での子育て率が上がると想定されるが、確定はできない。 達成率83.6%/87.4%=95.7%	子育て支援課
44 多子世帯保育料軽減事業	平成30年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず第3子以降児無償、第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の第2子、無償。年収360万円以上の世帯。同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず第2子軽減	0	平成30年度第3子以降児出生数29件。	0	第3子以降児の出産件数を平成31年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	96.7%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 平成30年度第3子以降児出生数29件。 達成率29人/30人=96.7%	子育て支援課
45 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業 (第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金支給事業を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。(H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 3,508千円 出産時 50,000円 × 31名 = 1,550千円 小学校入学時 30,000円 × 37名 = 1,110千円 中学校卒業時 30,000円 × 28名 = 840千円 通信運搬費 8千円	3,508	H30年度小学校入学祝い金 35件 1,050,000円 H30年度出産祝い金 29件 1,450,000円 H30年度卒業祝い金 19件 570,000円  【参考】出産祝い金支給件数 H25年度 39件 H26年度 27件 H27年度 26件 H28年度 29件 H29年度 35件 H30年度 29件	3,070	第3子以降児の出産件数を平成31年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)	96.7%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 第3子以降の出産祝い金の支給件数は年度末時点で29件とほぼ目標に近い数値となった。 達成率29人/30人=96.7%	子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
46 子育て世代包括支援センターの整備①	<p>・子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し妊娠、出産から就学前までの切れ目ない支援をめざす。 コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受けられるよう情報提供、関係機関調整などを行う。 妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学までのそれぞれの時期に対象者全員への子育てプラン提供、支援の必要な方への子育て応援プランの提供等を行う。</p> <p>◆消耗品費、通信運搬費 83千円</p>	343	<p>コーディネーターを配置し、妊娠届、新生児訪問、乳幼児健診の機会をとらえて、対象者の必要に応じ、子育てプラン、子育て応援プランを提供している。 子育てプラン提供:対象者全員に実施。(100%) 子育て応援プラン作成:21件/対象者21人(100%) 町内関係機関(要対協事務局・子育て支援センター)との情報共有の会:年2回(33.3%) 産科医療機関との会:1回(100%)</p> <p>◆消耗品費、通信運搬費82,877円</p>	343	<p>○子育てプラン配布:妊娠届者全員、乳幼児健診受診者:全員 ○子育て応援プラン作成:妊娠届時必要と判断した人全員(20人程度) ○町内関係機関(要対協事務局・子育て支援センター)との情報共有の会:年6回 ○産科医療機関との会:1回</p>	83.3%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 プラン作成は順調に行えている。 子育て支援センターとの連携は行っているが、ひとり親家庭支援課等その他関係者との情報連携を強化していきたい。子育てプラン提供(100%) 子育て応援プラン作成(100%) 町内関係機関(要対協事務局・子育て支援センター)との情報共有の会(33.3%) 産科医療機関との会(100%) 達成率(100%+100%+33.3%+100%)/4=83.3%</p>	子育て支援課
47 子育て世代包括支援センターの整備②	<p>・産前産後サポート事業 妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個別に相談に対応する。 パート保健師賃金【アウトリーチ型】 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用者からの相談に対応する。 ◆職員賃金等 1,062千円、消耗品費 11千円</p>	1,073	<p>産前産後サポート事業担当保健師が、子育て応援プラン作成された支援の必要な母親へ訪問や、電話相談を行っている。 【アウトリーチ型】28件 【デイサービス型】11回 【職員賃金等 1,061千円、消耗品費 11千円</p>	1,072	<p>アウトリーチ型:年30件 デイサービス型:年11回</p>	96.7%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】 おおむね目標を達成できた。来年度も引き続き産前産後の妊産婦に寄り添い、サポートしたい。 達成率【アウトリーチ型】28件/30件=93.3% 【デイサービス型】11/11=100% (93.3%+100%)/2=96.7%</p>	子育て支援課



事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
48 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③	<p>・産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘルパー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により虐待の未然防止も図る。 【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ細かい支援を行う。 【デイサービス型】 日中来所した者に対し、個別又は集団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。 ・母子来所 ・乳児一時預かり 【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行う。 ◆助産師報償費 34千円、委託料 191千円(ヘルパー派遣・ショートステイ・デイサービス等)</p>	242	<p>【事業利用実績】 ・産後ケア事業 【宿泊型】【デイサービス型】宿泊型について相談があったが、医療機関の事情で対応できなかったため、0件。 【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行った。4件。 【産前産後ヘルパー派遣事業】 産婦1人に7回実施。 ◆助産師報償費 14千円、委託料 17千円(ヘルパー派遣・ショートステイ・デイサービス等)</p>	31	訪問型:10件 宿泊型:2件 デイサービス型:11件	20%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 【現在の状況】 実利用者数 5人 産後ケア事業宿泊型、デイサービス型については相談はあったが希望と医療機関との調整がつかなければ利用ができない。他事業と柔軟に連動し、今後も引き続き対象者へのきめ細やかな支援を行い、必要に応じて利用できるよう調整、支援をしていきたい。 達成率【訪問型】4件/10件=40%【宿泊・デイサービス型】0件/13件=0% (40%+0%)/2=20%</p>	子育て支援課
49 不妊治療費 助成事業	<p>県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。 【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 見込み26件 2,562千円 ◆人工授精費 見込み 2件 11千円 ◆不育症治療費 見込み 1件 50千円</p>	2,623	<p>県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成した。 【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 24件 2,218千円 ◆人工授精費 1件 4千円 ◆不育症治療費 0件 0円</p>	2,222	利用件数 特定不妊治療15件、人工授精4件、不育症治療1件	61.7%	<p>【評価:B 計画以上に進んでいる】 新規申請者が増加した。今後もあらゆる機会を捉えて制度の周知を積極的に行い、子どもを望まれる夫婦の支援を行っていく。 達成率【特定不妊治療】24件/15件=160%【人工授精】1件/4件=25%【不育症治療】0件/1件=0% (160+25+0)/3</p>	子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
50 ファミリーサポートセンター事業の充実	子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。事業PR、会員の確保。預かり体験。 ◆職員賃金等 1,921千円 ◆講師謝金、消耗品、郵券料 34千円 ◆活動保険料 79千円	2,034	実利用者数年間見込11人に対し6人。前年に比べ依頼があっても、提供会員が見つからず、成立しないケースがあった。提供会員の高齢化、新規の提供会員の登録が少ないことが現状。 延べ利用 310件 実利用 6件	1,934	実利用者数の増。年間実利用者数を前年の1.5倍とする。(7人×1.5=11人)	54.5%	【評価:D 計画より遅れている】 【現在の状況】 実利用者数 6人 達成率6件/11件=54.5%	子育て支援課
51 18歳年度末までの医療費助成事業	小児医療対象者への医療費の給付(現物・現金)を実施する。 ◆特別医療費助成(小児) 55,541千円	55,541	・大半の受給資格者は出生、転入の手続きと併せて町民課や子育て支援課で制度案内や受付をしている。 ・転入者の多くは転入の手続き時に完了する。 ・出生者については各種健康保険証が交付されてからの手続となるため、国保以外の受給者は出生から申請まで1~3か月かかる。	52,830	【目標】 新規対象者(出生・転入者)のうち、90%以上の方に受給資格証を申請していただくよう周知に努める。	93%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ・新規対象者の対応については、計画どおりに進んでいる。 ・小児区分については、受給資格証が無い状態で受診した場合でも、医療機関から申請手続きの案内を行っているため、医療費助成は適正に実施できている。引き続き今後も周知に努める。 191名/204名=93%	健康推進課
52 病児・病後児・夜間保育事業	◆病児保育:120人(定住自立圏構想での取組。事業受託者ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 785千円 ◆病後児保育:45人(定住自立圏構想での取組。事業受託者十字会。実施場所野島病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 704千円 (上記は引き続き定住自立圏で取り組む)	1,489	利用者数は4月から8月までの実績。9月利用者の報告は未。支払いは年度末。  【参考】 病児保育利用実績 H25年度 延べ34件 H26年度 延べ87件 H27年度 延べ83件 H28年度 延べ85件 H29年度 延べ109件 H30年度 延べ37件  病後児保育利用実績 H25年度 延べ22件 H26年度 延べ27件 H27年度 延べ38件 H28年度 延べ32件 H29年度 延べ40件 H30年度末 延べ22件	0	利用者数 病児保育 120件 病後児保育 45件	40%	【評価:D 計画より遅れている】 就園時の病気等の件数が少ない、または自宅での看護等の理由で利用件数が少ないと予想される。 達成率【病児保育】37件/120件=30.8% 【病後児保育】22件/45件=48.9% (30.8%+48.9%)/2=39.85%	子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
53 SNS等による子育て支援情報の提供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育て情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 委託料 389千円	389	8月から、子育てアプリ「笑顔ゆりはま子育てアプリ」を開始。 妊娠届、新生児訪問、乳児健診、こども園、広報湯梨浜、湯梨浜町ホームページ、ケーブルテレビでPRを行った。引き続き利用促進のPRを続ける。 魅力のある子育て情報の提供を行っていく。 委託料32,400円	33	子育てアプリ等による情報発信。登録者数127名(年間母子手帳交付数135名)	94.1%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 アプリを導入し情報発信は順調に行えている。他課の情報発信も進めていくようにしていく必要あり。達成率:127名/135名=94.1%	子育て支援課
54 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進①	放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後こども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学習の広場事業と連携実施する。 ◆羽合第1:7,046千円、羽合第2:8,985千円、東郷第1:7,112千円、東郷第2:5,831千円、泊:6,963千円	33,843	利用するかどうかわからないが、いつでも利用できるよう登録しておくという保護者もおり、登録者数は増加傾向にある。登録すると、利用料がかかることに加え、退級やあらかじめ利用しないとわかっていた場合について変更ができるということも説明を行い、承知の上だが、全く利用しない月が連続する場合は退級を促すことも必要。(H31.3月末現在)登録者数345人、利用者数321人	32,552	利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3月利用について100%とする。	93%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 登録はされているが全く利用されていない月が連続する場合は退級を促すことも必要である。更に長期休業のみを利用する場合は登録自体を忘れていた可能性もあるので、登録状況を再確認してもらう機会を設けることも必要である。 達成率321人/345人=93%	子育て支援課
55 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進② ゆりはま自主学習の広場事業(放課後子ども教室)	・羽合西コミュニティ及び町内3小学校の空き教室を使用し、年間35回程度の学習支援活動を行う。週1回は放課後(月3回予定)と夏季休業中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。 ◆報償費 1,602千円、消耗品・燃料費 97千円 保険料 90千円	1,789	学習アドバイザー(指導者)を18名確保した。指導者が児童の集中力が続くような工夫がなされ始め、前年度より落ち着いた教室運営ができた。 ・羽合西コミュニティ(2,3年生) 児童19名 ・羽合小(1年生) 児童15名 ・泊小(1,2,3年生) 児童7名 ・東郷小(1,2年生) 児童20名  羽合西コミュニティは、一人の児童につき週2回実施。羽合小、泊小、東郷小は月3回程度実施。	1,594	運営委員会を開催し、各小学校等でこども教室を実施し、学習習慣の定着を図る。 児童数70名とする。	87%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 各教室とも計画通り開催した。参加児童においてもほぼ概ね募集想定の数である。(泊小については再募集を行った)61名/70名=87%	教育総務課

事業名	計画		実績		KPI		担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		評価
56 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進する。 羽合地域(長瀬、東田後)、東郷地域(舎人、大介)、4放課後子ども教室を実施する。 H30年度から東田後においては週2回開催を週3回開催とする。 ◆報償費(4教室分) 2,235千円、消耗品費 189千円	2,424	平日の放課後や週末など、子どもたちの安心・安全な居場所、活動拠点を確保し、学習や様々な体験活動が行われる環境を整え、4月から東郷地域、羽合地域において4教室について、地域の方、ボランティアサークルなどの協力を得ながら事業を実施した。  【参加延人数】 長瀬キッズ 108人 東田後放課後子ども教室 1,660人 舎人放課後子ども教室 678人 大介 113人 合計 2,559人	2,379	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。 年間参加延児童数2,400名以上とする。	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 それぞれの教室で計画どおり事業が実施され、子どもたちの居場所、体験活動などが行われた。H30年度からは、東田後において教室が週3回開催され、居場所の提供の充実につながった。 2,559名/2,400名=107%→100%	生涯学習・人権推進課
57 ゆりはま自主学习の広場事業(ゆりはま地域未来塾)	在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の下校後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に学習習慣の定着を目指すものであり、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国事業:『学校・家庭・地域の連携協力推進事業』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ◆報奨金 200千円、消耗品・郵券料 154千円、保険料 28千円	382	5月から活動をスタートし、平日11回、土曜5回、計16回開催した。両中学校とも8名の参加生徒、5名の教育活動支援員の参加を得た。生徒の自主学习を中心に取り組み、基礎学力の定着と学習習慣の定着を目標に取り組んだ。参加した生徒のアンケートでは、67%が「とても満足した」、33%が「概ね満足した」と答えており、全員が肯定的な評価をした。 ★生徒参加率(両中学とも20%を想定) 東郷中 47名中8名(約17%) 北浜中 108名中8名(約7%)	359	運営委員会を開催し、各中学校で未来塾を実施し、学習習慣の定着を図る。 対象生徒数の20%の参加を得る。	52%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 両中学校とも計画どおりに実施され、実施の内容について、参加した生徒全員が肯定的な評価をした。しかし、今年度はニーズが少なく、想定した人数の約半数の参加であった。 16名/155名=10.3%→10.3%/20%=52%	教育総務課
58 学校支援ボランティア事業の推進	・各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。 ・また、自校だけでは要請することが難しいボランティア内容に対し、他校人材バンクへの登録者情報を必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。 ◆ボランティア保険料 62,000円	62	各校から名簿の提出を受け、ボランティア保険への登録手続きを行った。羽合小27名、泊小33名、東郷小39名、北浜中27名、東郷中35名、計161名の登録があった。各校で、読み聞かせ、登下校の見守り、除草作業などの活動が行われた。また、学校運営協議会の活動により、東郷小学校では地域と連携した見守り隊が結成された。	57	各学校のニーズに沿った地域による学校支援を実施する。 小中学校で150名登録。	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 登録者数は目標数値に到達している。コミュニティ・スクールを推進し、新規登録者をさらに開拓していきたい。 161名/150名=107%→100%	教育総務課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
59 ふるさと教育の推進	総合的な学習の時間で行われている地域学習の取組みを拡充する。各小・中学校独自の取組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。 【羽合小学校】総合的な学習(湯梨浜昔話お話し会、はわい自慢調べほか)45,810円 【東郷小学校】総合的な学習(梨づくり、東郷池体験活動ほか)59千円 【泊小学校】総合的な学習(エンジョイフィッシング、泊貝がら節伝承ほか)94千円 【北浜中学校】湯梨浜調べ、ふるさと野外活動ほか60千円 【東郷中学校】伝統芸能継承、地域貢献ほか85千円	344	現在までの事業実施状況 【羽合小】いきもの探検(9月)はわい自慢調べ(9月)、東郷池学習(9月) 他。 【泊小】エンジョイフィッシング(雨のため中止)、泊貝がら節伝承(5月)、全校グラウンドゴルフ(9月)、梨づくり(4月～) 他。 【東郷小】梨づくり体験学習(4月～)、東郷池体験活動(5月～)、グラウンドゴルフ体験(5月～) 他。 【北浜中】ふるさと野外活動(5月)、職場体験学習(6月) 他。 【東郷中】地域の農家での体験(5月)、伝統芸能継承(7月)、地域行事に参加(7月) 他。	336	各学校でふるさとに愛着を持つ児童生徒の育成をめざし、各種事業等実施する。 アンケート目標70%以上。	77%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 総合的な学習の時間などを中心にふるさと教育を進めた。アンケート結果は、54.0%だった。 ※達成率 進捗:アンケ=1:1として算出。 54%/70%=77%	教育総務課
60 小学校社会科副読本作成事業	編集委員会の開催(小学校社会科教諭等)4回開催予定 ◆報償金2,400円×3名×4回=29千円 ◆印刷費 274千円	303	平成31年3月、小学校社会科副読本「わたしたちの湯梨浜町(3.4年生向け)」を発行。平成31年度用として各学校で社会科の学習を中心に活用していく。 ・湯梨浜町の地図 ・湯梨浜町の防災について ・湯梨浜町の水について ・郷土の発展に尽くした人について	274	編集委員を委嘱し、委員会を開催。平成30年度出版を目指す。	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 平成31年3月発行済み。	教育総務課
61 ワーク・ライフ・バランスセミナー事業	生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナー開催する。 ◆需用費 10千円 ◆報償費 0千円→15千円 ◆旅費(費用弁償) 0千円→61千円 ◆委託料 200千円→124千円 ◆男女共同参画環境づくり奨励事業補助金 170千円	380	●一般町民を対象としたセミナーをH31.3.3、町内企業経営者等を対象としたセミナーをH31.3.27に実施。 ◆需用費 0円 ◆報償費 15,000円 ◆旅費(費用弁償) 60,840円 ◆委託料 100,000円 ●男女共同参画環境づくり奨励事業補助金については、実績なし。 ◆奨励事業補助金 0円	176	鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数:16社(9%増)	93.8%	【評価:D 計画より遅れている】 ●認定企業数:15社(15/16社) ●一般町民及び企業を対象にセミナーを実施したが、県の認定企業増加には至らなかった。男女共同参画環境づくり奨励事業補助金を更に周知し、県の認定企業増加を目指す。	企画課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
62 介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)養成事業	介護予防・健康づくりリーダーの養成を着実に実施していくとともにリーダー実習を支援して自主的活動展開へとつなげる。(5年計画の4期目) ◆講座講師報酬金 82千円 ◆実習参加謝礼 36千円 ◆講座テキスト代 33千円 ◆消耗品の購入、郵券料 47千円	198	★養成講座応募者:19人(H29年度に4回目までを受講済の2人を含む。) ・6月28日に開講式を行い、9月末までに4回の養成講座を実施した。 当日受講者は延64人。当日欠席者には延5人に補講を実施。前年度受講済は延4人で合計で延73人が受講済。 3月末までに合計10回の養成講座を実施した。当日受講者は延156人。当日欠席者に対しては延15人に補講を実施。前年度受講済の延4人を合わせて合計で延175人が受講した。 ・受講生19人のうち、1人が家庭の事情等で2回目以降の受講を、もう1人が5回目以降の受講を辞退され、最終的には17人の修了となった。 ★第3期生の活動(目標:実習参加1人2回以上)に対する達成者:14人/17人(82.4%)累計:延170人 ★第1・2期生の活動(目標:サロン1人1回以上)に対する達成者:29人/43人(67.4%)累計:延325人	181	介護予防・健康増進リーダー養成者数:20人 実習参加(3期生):1人2回以上 サロン実施(1~2期生):1人1回以上	78%	【評価:D 計画より遅れている】 ★養成講座については、募集目標20人に対して19人(前年度4回目まで受講済で修了に至らなかった2人を含む。)の応募があった。開講後、2回目、5回目以降の参加が難しくなった2人が辞退され、最終的には17人の修了となった。 ①H30年度(4期)生の達成率:17人/20人=85% ②3期生の達成率:14人/17人=82.4% ③1・2期生の達成率:29人/43人=67.4% ★合計達成率: (①+②+③)/3=78.3%	長寿福祉課
63 歯・口の健康づくり推進事業	小学校においては、町が実施主体となり、学校歯科医師等の関係者と連携を図りながら実施していく。 中学校については、県の委託事業として、県歯科医師会、教育委員会と連携し実施。 ◆歯科保健指導、検討会出席謝金 63千円、消耗品・郵券料 182千円、洗口液作成・配達委託料 623千円	868	町内小学校については、4月26日から泊小学校で、27日から羽合小学校、東郷小学校で実施。実施率:羽合小学校95.6%、東郷小学校98.9% 泊小学校90.2%(H31.3月末現在) 町内中学校については、事前に教職員と生徒に対する事業説明会を実施し、6月20日から北浜中学校、6月27日から東郷中学校で実施。 実施率:北浜中学校82.7%、東郷中学校88.2%	595	【目標】 町立中学校全学年でフッ化物洗口を実施する。	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 各中学校、教育委員会、学校歯科医師等と実施方法について、継続的な実施の可能性の可否について協議を重ね実施した。 町立中学校全学年で実施:1~3学年での実施=100%	健康推進課

# 湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

平成30年度事業実績

事業名	計画		実績			KPI		担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
64 健康相談・健康教室等の実施①	温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣) 年間計画に沿って実施(週2回、年75回) ◆講師謝金 312千円	312	参加者実績:1,038人 【内訳】4月:71人、5月:110人、6月:110人、7月:79人、8月:21人、9月:84人、10月:100人、11月:104人、12月:86人、1月:88人、2月:105人、3月:80人	300	【目標】 教室参加人数を1,200人以上	86.5%	【評価:D 計画より遅れている】 昨年度1,146人と比べ、参加延人数が減少した。引き続き広報紙等で周知を図り、参加者の増加に努める。 1038人/1200人=86.5%	健康推進課
65 健康相談・健康教室等の実施②	【地方創生推進交付金】 積立貯筋運動教室 町内の体育施設を利用して、健康体操を中心に開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。 ◆講師謝金 1,104千円、消耗品・印刷費・郵券料101千円	1,205	◆つみたて貯筋(泊) 延べ175名(12回開催) ◆つみたて貯筋(東郷)延べ138名(11回開催) ◆ココカラ運動教室 延べ502名(39回開催) ◆ヨガ教室 延べ178名(20回開催) ※一般会計歳出分のみ計上 報償金 1,059千円 消耗品・郵券代 18千円	1,077	【目標】 各運動教室参加者 15名/回	76.9%	【評価:D 計画より遅れている】 各教室の1回あたりの平均参加人数 つみたて(泊)14.5名、つみたて(東郷)12.5名、ヨガ8.9名、ココカラ12.8名、積立(羽合)9名 教室全体平均57.7名/5回=11.54名 11.54名/15名=76.9%	健康推進課
66 健康相談・健康教室等の実施③	【地方創生推進交付金】 ウォーキングと温泉を利用した健康+観光推進事業 ウォーキングと温泉を活用した運動プログラムを周知することにより、実践につなげ町民の健康づくりにつなげる。 ◆消耗品費 200千円	200	本町の温泉効能に一番近い入浴剤(はわい温泉・東郷温泉入浴剤)を2,000個購入。 H29年度に作成した運動プログラムの効果を記載したチラシとともに配布し、その効果を実感してもらう。 ※運動教室、ウォーキングイベント等で配布	160	【目標】 運動効果の周知により、ノルディックウォーク教室の参加者を前年比110%とする。	52%	【評価:D 計画より遅れている】 ノルディックウォーキング教室参加者 H29参加者(3月末)89人 H30参加者(3月末)51人 前年比57.3% 57.3%/110%=52%	健康推進課
67 鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携	【地方創生推進交付金】 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ◆「まちの保健室」等事業にかかる報償金 90千円 ◆地区での健康教室に係る消耗品 47千円 ◆まちの保健室鳥取看護大学委託料 175千円	312	①新川地区まちの保健室実施:11月18日(日)於:新川キャンピングセンター 参加者14人 ②松崎地区まちの保健室実施:6月10日(土)於:どれみ 参加者:27名 *5月27日(日)の軽トラ市で、健康相談と、まちの保健室のチラシを配布しPRした。 ③原地区まちの保健室実施: 7月8日(日)於:原集会所 参加者39名 H31年1月20日(日)於:原集会所 参加者32名	188	【目標】 モデル地区3地区選定。 まちの保健室の開催	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 各地区のニーズと課題について、地区、町と鳥取看護大学で共有し事業実施し、地域ぐるみでの健康づくりの機運づくりを進めた。 モデル地区3地区(5回)実施:5回/5回=100%	健康推進課

事業名	計画		実績		KPI		担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		評価
68 食と健康のまちづくり事業	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>タニタ健康プログラムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タニタ健康システムの機器の導入、運用</li> <li>・タニタ健康プログラムの推進</li> </ul> <p>◆食と健康のまちづくり事業 委託料3,851千円、活動量計ID、サイト使用料他1,242千円</p>	5,093	<ul style="list-style-type: none"> <li>■10/12 タニタと協定調印式</li> <li>■10/14 ゆりはま天女ウオークで事業PR</li> <li>■町報11月号でゆりはまヘルシーくらぶ会員募集チラシ全戸配布</li> <li>■11/10 国保連主催イベントにおいて募集PR</li> <li>■町報12月号掲載・会員募集チラシ全戸配布</li> <li>■12/16～18 初回説明会・セミナー開催</li> <li>■町報2月号で会員募集チラシ全戸配布</li> <li>■2/16、17 羽合・東郷・泊各地域で事業説明会開催</li> </ul> <p>※その他、関係団体合等で事業説明及び会員募集を呼びかけ</p>	4,983	<p>【目標】</p> <p>運動管理システム(活動量計)を利用した「ゆりはまヘルシーくらぶ」の会員を最終600名とする。</p>	26%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>平成30年度会員獲得目標は300人(うち50人は特定保健指導)。3月末時点の会員数は106人であり、加入促進に向け一層の取り組みが必要。(会員106人+保健指導50台)/最終目標600人=26%</p>	健康推進課
69 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進①【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進)</p> <p>28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」との連携など官民が一体となり推進していく。</p> <p>◆生涯活躍のまち推進事業14,737千円</p> <p>移住体験ツアー委託 351千円、移住PR事業費12,437千円</p> <p>平成30年度は、昨年度作成した4ha土地全体構想をもとに都市部でのPRのための資料作成を行う。</p>	14,737	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生涯活躍のまちの一つの拠点として、旧ミドーレークホテル跡地(4ha)の土地利用基本構想を基に、H30年度は、合計10回のレークサイド・ヴィレッジゆりはまプロジェクト会議を開催した。</li> <li>10月に、生涯活躍のまちレークサイド・ヴィレッジゆりはま開発事業の記者発表を知事公邸において行い、民間事業者:レークサイドゆりはま開発(株)が主体となり、町と連携して事業に着手した。</li> <li>都市部等でのPR資料作成業務を委託し、コンセプトブック、チラシ等の資料作成を行った。</li> </ul>	3,990	<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32)</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)</p>	96%	<p>【評価:C 計画どおりに進んでいる】</p> <p>①県外からの移住者:185人</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:30団体</p> <p>CCRCに参画する団体は、まちづくり会社に出資する事業者等のほか、4ha土地開発事業に参画する事業者等が加わり、目標を達成した。</p> <p>①185人/200人=93%</p> <p>②30団体/27団体=100%</p> <p>(①+②)/2=96%</p>	みらい創造室



事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
70 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進②【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち)地域おこし協力隊4名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の中核を担い、活動するもの。</li> <li>【地域おこし協力隊】</li> <li>・まちづくり会社で活動(4名) 15,997千円</li> </ul>	15,997	<ul style="list-style-type: none"> <li>■9月に新協力隊員1名を任命。泊地域の空き家対策事業、総合相談センターどれみの企画運営を中心にまちづくり会社で業務を行う。</li> <li>■3月末協力隊員2人退職。</li> </ul>	9,616	<推進交付金> ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)	96%	【評価:D 計画より遅れている】 新地域おこし協力隊1名を任命して、全1人で活動をしている。3名の募集を継続していく。 ①県外からの移住者:185人 ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:30団体 ①185人/200人=93% ②30団体/27団体=100% (①+②)/2=96%	みらい創造室
71 〈再掲〉「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進④【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「まちの保健室」等事業にかかる報償金 90千円</li> <li>◆地区での健康教室に係る消耗品 47千円</li> <li>◆まちの保健室鳥取看護大学委託料 175千円</li> </ul>	312	①新川地区まちの保健室実施:11月18日(日)於:新川キャンピングセンター 参加者14人 ②松崎地区まちの保健室実施:6月10日(土)於:どれみ 参加者:27名 *5月27日(日)の軽トラ市で、健康相談と、まちの保健室のチラシを配布しPRした。 ③原地区まちの保健室実施: 7月8日(日)於:原集会所 参加者39名 H31年1月20日(日)於:原集会所 参加者32名	188	【目標】 モデル地区3地区選定。 まちの保健室の開催	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 各地区のニーズと課題について、地区、町と鳥取看護大学で共有し事業実施し、地域ぐるみでの健康づくりの機運づくりを進めた。 3地区/3地区=100%	健康推進課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI		担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率 評価	
72 縁結び支縁員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支縁員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ◆縁結び支縁員 情報交換会、研修会 出席報償金 40千円 ◆婚姻成立時報償金 72千円	112	◆縁結び支縁員 情報交換会、研修会 出席報償金 22千円 ◆婚姻成立時報償金 0千円	22	縁結び支縁員事業等により婚姻した件数:年1件	0% 【評価:D 計画より遅れている】 ■縁結び支縁員の仲立ちによる成婚件数は0件であり、目標達成できていない。 ■新規縁結び支縁員について、町報等により募集(6月末~8/31)し、1名新規登録となった。	企画課
73 婚活イベント事業(広域連携)	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。 ※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円	200	◆広域連合負担金 200千円	200	平成30年度に広域連携による婚活イベントを実施。 パーティー型イベント:2回 婚活セミナー:3回	80% 【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ■婚活イベント、婚活セミナー各2回の実施。婚活セミナーは目標3回であったため、目標達成とならなかった。 婚活イベント、セミナー合計4回/5回=80%	企画課
74 中学校統合に伴う北浜中学校及び東郷中学校の跡地利用計画の策定等	中学校統合等による跡地施設の有効利用を図るため、有効な利用方法を検討するための委員会を開催し、実施に向けた調整を行う。 ◆委員報償金 193千円 ◆消耗品費 10千円 ◆通信運搬費 12千円 【湯梨浜町学校跡地施設等利用検討委員会設置要綱】 【委員会】 □委員20人以内 【組織】 ①学識経験のある者又は住民活動を行う者 ②町議会の議員 ③町の職員 ④公募による者 【委員任期】 □2年	215	◆学校跡地施設利用検討委員会委員報償金 137千円 第1回 H30.5.30開催 第2回 H30.7.5開催 第3回 H30.8.7開催 第4回 H30.9.12開催 第5回 H30.10.30開催 ◆報告書を町に提出(H30.11.20) ◆消耗品購入、郵送料 15千円	152	中学校ごとの検討案を報告する。	100% 【評価:C 計画どおりに進んでいる】 全5回の委員会を開催。中学校ごとの検討案をとりまとめ、平成30年11月20日に町へ報告書を提出した。	企画課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
75 IJUターン促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。 《H31予算額》3,918千円(旅費347千円、需用費30千円、役務費41千円、委託料3,500千円)	3,918	相談会参加 ・5/12鳥取来楽暮カフェ(大阪)相談2組 ・5/19鳥取県移住フェア(東京)相談7組 ・6/10鳥取県移住フェア(大阪)相談6組 6/1移住定住促進業務を湯梨浜まちづくり(株)と契約 ・9/29休日相談会(東京) ・10/28BIG相談会(東京) ・11/17BIG相談会(大阪) ・12/15鳥取来楽暮カフェ(大阪) ・1/19鳥取来楽暮カフェ(大阪) ・2/9鳥取来楽暮カフェ(大阪)	3,699	移住について具体的な相談に入っている者数:5人	60%	【評価:D 計画より遅れている】 移住について具体的な相談に入っている者数:3人 3人/5人=60%	みらい創造室
76 空き家情報バンク活用促進事業	空き家情報バンク登録物件に県内からの町外者が転入する場合に、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:250千円 補助率1/2 予算:250,000円×2件=500,000円 《H30予算額》補助金 500千円	500	◆補助金 0千円  ◆町外(県内)の利用登録者数は7件であり、利用者数の目標は達成したが、成約に至った物件は0件であり、補助金利用実績も0件であった。  ※町内利用者登録数 6件 ※県外利用者登録者数 4件	0	町外(県内)からの空き家バンク利用者数:2件	100%	【評価:B 計画以上に進んでいる】 ■補助金利用実績は0件であるが、バンク情報利用希望者登録は、目標を達成している。 7件/2件=350%→100%	企画課
77 空き家対策事業	空き家改修事業補助金 移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 《H30予算額》補助金 500千円×2件	1,000	◆補助金 0千円	0	移住希望者へ空き家提供:2件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 ■空き家情報バンクの利用はあるものの、提供には未だ至っておらず、計画よりも遅れている。	企画課
78 移住定住者住宅支援事業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《H30予算額》4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件	4,500	◆交付実績 移住定住1名(2件) 610千円	610	県外からの転入者の定住:4件	50%	【評価:D 計画より遅れている】 ■移住定住が目標4名に対し、2名(2件)となり、目標達成とならなかった。 2件/4件=50%	企画課

事業名	計画		実績			KPI		担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
79 移住定住者住宅支援事業②	・ゆりはま定住モデルハウス事業 土地開発公社分譲地を購入した上でモデルハウスを建築し、1年以上運営する事業者(ハウスメーカー等)に対して、補助金を交付することで、本町への移住定住と分譲販売の促進を図る。(H30は計画認定のみ。債務負担行為設定済) ◆報償費 5千円 ◆通信運搬費 2千円	7	◆補助金 0千円	0	モデルハウス補助金計画認定1件	0%	【評価:D 計画より遅れている】 住宅業者に情報提供は行っているが、利用に結びついていない。	企画課
80 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ボランティア受入報償金 100千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)60泊 324千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 6千円	456	◆交付実績 ボランティア受入報償金 70千円(28日) ボランティア受入委託料(宿泊) 179千円(33泊) ※ボランティア従事者16名	249	ボランティア従事者:20名	80%	【評価:D 計画より遅れている】 ■ボランティア従事者が目標20名に対し、16名となり、目標達成とはならなかった。 16名/20名=80%	企画課
81 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×37件=18,500千円 新築・購入(中山間地域) 600千円×21件=12,600千円 新築・購入(土地開発公社) 1件 1,000千円 合計 59件、32,100千円	32,100	◆交付実績(H29債務負担含) 52件 26,663千円 新築・購入 40件 19,959千円 新築・購入(中山間) 11件 5,704千円 新築・購入(開発公社) 1件1,000千円 ◆交付決定済(H31完成予定分) 12,000千円(23件)	26,663	若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:59件	88%	【評価:D 計画より遅れている】 前年とほぼ同じペースで推移しているが、交付実績は目標に至らなかった。 52件/59件=88%	企画課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
82 三世帯同居 世帯等支援 事業	三世帯家族の形成と子育ての支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世帯で同居するための住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 500千円×5件 2,500千円	2,500	◆交付実績(H29債務負担含) 3件 1,157,000円 新築 2件 1,000,000円 改築 1件 157,000円	1,157	新たな三世帯家族の定住:5件	60%	【評価:D 計画より遅れている】 前年度の交付実績は4件であり、前年比1件の減で目標値には至らなかった。 3件/5件=60%	企画課
83 移住者運転 免許証取得 支援事業	■県外からの移住者が自動車運転免許証を取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×3件 450千円	450	◆交付実績 1件 150,000円	150	県外からの定住者の免許取得:3件	33%	【評価:D 計画より遅れている】 前年度の交付実績は1件であり、前年と同件数であったが目標値には至らなかった。 1件/3件=33%	企画課
84 住宅取得仲 介報酬助成 事業	中古住宅及び新築住宅用土地(いずれも集合住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×10件 1,300千円	1,300	◆交付実績 6件 519,000円	519	中古住宅及び新築住宅用土地購入による、町内への定住:10件	60%	【評価:D 計画より遅れている】 前年度の交付実績は9件であり、前年比3件の減で目標値には至らなかった。 6件/10件=60%	企画課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
85	お試し住宅運営事業	【地方創生推進交付金】 古民家を活用したお試し住宅と、街なかに新設したお試し住宅を設置して、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらうとともに、空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住民の交流による地域活性化及び定住促進を図る。 お試し住宅指定管理をまちづくり会社として運営する。	0	お試し住宅利用実績 【まつぎ屋】 4月1件、6月1件、7月2件、8月3件、9月4件、10月2件、11月1件、12月1件、1月2件、2月2件、3月1件 【もりた屋】 7月1件、8月1件、9月1件、10月1件、11月1件、1月1件	0	お試し住宅利用件数:24件	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 お試し住宅利用件数:26件 26件/24件=108% →100%	みらい創造室
86	〈再掲〉ふるさと奨学資金貸与事業(名称変更:ふるさと人材育成奨学金支援助成金事業) 【Ⅰ:④雇用の推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭。 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆無利子:180千円 ◆有利子:135千円	90	7/3制度の周知のため、県助成金の対象者に対し、湯梨浜町の制度チラシを同封したDMを県に送付いただいた。 既交付決定者の2名に交付した。	90	申請者6人	0%	【評価:D 計画より遅れている】 就職の内定時期を踏まえて周知を図っていきたい。	教育総務課
87	〈再掲〉「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進① 【Ⅱ:②地域福祉の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」との連携など官民が一体となり推進していく。 ◆生涯活躍のまち推進事業14,737千円 移住体験ツアー委託 351千円、移住PR事業費12,437千円 平成30年度は、昨年度作成した4ha土地全体構想をもとに都市部でのPRのための資料作成を行う。	14,737	■生涯活躍のまちの一つの拠点として、旧ミドレークホテル跡地(4ha)の土地利用基本構想を基に、H30年度は、合計10回のレークサイド・ヴィレッジゆりはまプロジェクト会議を開催した。 10月に、生涯活躍のまちレークサイド・ヴィレッジゆりはま開発事業の記者発表を知事公邸において行い、民間事業者:レークサイドゆりはま開発(株)が主体となり、町と連携して事業に着手した。 都市部等でのPR資料作成業務を委託し、コンセプトブック、チラシ等の資料作成を行った。	3,990	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H30)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体の数:1団体(H29)、27団体(H32)	96%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ①県外からの移住者:185人 ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体の数は、まちづくり会社に出資する事業者等のほか、4ha土地開発事業に参画する事業者等が加わり、目標を達成した。 ①185人/200人=93% ②30団体/27団体=100% (①+②)/2=96%	みらい創造室

事業名	計画		実績		KPI		担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		評価
88 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進② 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	<p>・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち)地域おこし協力隊4名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の中核を担い、活動するもの。</p> <p>【地域おこし協力隊】</p> <p>・まちづくり会社で活動(4名) 15,997千円</p>	15,997	<p>■9月に新協力隊員1名を任命。泊地域の空き家対策事業、総合相談センターどれみの企画運営を中心にまちづくり会社で業務を行う。</p> <p>■3月末協力隊員2人退職。</p>	9,616	<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者:200人(H30)、980人(H32)</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)</p>	96%	<p>【評価:D 計画より遅れている】</p> <p>新地域おこし協力隊1名を任命して、全1人で活動をしている。3名の募集を継続していく。</p> <p>①県外からの移住者:185人</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:30団体</p> <p>①185人/200人=93%</p> <p>②30団体/27団体=100%</p> <p>(①+②)/2=96%</p>	みらい創造室
89 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進③	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>平成30年度は、昨年度設計が完了した松崎駅前多世代地域交流拠点の改修工事を実施するとともに、拠点オープンに向け、備品購入や内容検討等を進めていく。</p> <p>○松崎駅前拠点等整備事業(地方創生)</p> <p>・松崎駅前多世代地域交流拠点施設設計・監理業務委託料 1,674千円</p> <p>工事請負費 73,590千円</p> <p>備品購入費 4,061千円</p> <p>下水道負担金・温泉加入金 2,976千円</p>	82,326	<p>■10月末に工事が完了し、11月5日に松崎駅前多世代交流センターゆるりん館としてオープンをした。</p> <p>ゆるりん館へ足湯を整備。3月末完成・オープンした。</p>	80,782	<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32)</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)</p>	96%	<p>【評価:A 達成済、事業完了】</p> <p>①県外からの移住者:185人</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:30団体</p> <p>CCRCに参画する団体は、まちづくり会社に出資する事業者等のほか、4ha土地開発事業に参画する事業者等が加わり、目標を達成した。</p> <p>①185人/200人=93%</p> <p>②30団体/27団体=100%</p> <p>(①+②)/2=96%</p>	みらい創造室

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
90 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進④【Ⅱ:②地域福祉の推進にも記載あり】	【地方創生推進交付金】 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ◆「まちの保健室」等事業にかかる報償金 90千円 ◆地区での健康教室に係る消耗品 47千円 ◆まちの保健室鳥取看護大学委託料 175千円	312	①新川地区まちの保健室実施:11月18日(日)於:新川キャンピングセンター 参加者14人 ②松崎地区まちの保健室実施:6月10日(土)於:どれみ 参加者:27名 *5月27日(日)の軽トラ市で、健康相談と、まちの保健室のチラシを配布しPRした。 ③原地区まちの保健室実施: 7月8日(日)於:原集会所 参加者39名 H31年1月20日(日)於:原集会所 参加者32名	188	【目標】 モデル地区3地区選定。 まちの保健室の開催	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 各地区のニーズと課題について、地区、町と鳥取看護大学で共有し事業実施し、地域ぐるみでの健康づくりの機運づくりを進めた。 3地区/3地区=100%	健康推進課
91 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進⑥	町営住宅建替えについて、生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点としての整備計画の検討 ・建設場所 ・規模(戸数) ・財源計画 ・用地取得 ・事業要望 等	0	・国のPPP/PFI導入推進事業の採択業者(市浦ハウジングアクトプランニング)と共に打合せを4回、公営住宅のあり方を検討会を2回、指定管理勉強会を1回行った。 ・PPP/PFI導入推進事業を活用し、町内の公営住宅のあり方を総合的に検討中。 現時点でのあり方の案は以下のとおり ①ミドレーイク跡地 22戸程度新築 378,830千円 社会資本総合交付金(最大45/100補助)、残りは起債 ②上町団地跡地 18戸新築 305,852千円※既存施設の解体費は別途 社会資本総合交付金(最大45/100補助)、残りは起債 ③その他の既存団地は継続・売却・統合などのあり方を随時検討。	0	〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H30)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体の数:1団体(H30)、27団体(H32)	96%	【評価:D 計画より遅れている】 ①県外からの移住者:185人 ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体の数:31団体 CCRCに参画する団体は、まちづくり会社に出資する事業者等のほか、4ha土地開発事業に参画する事業者等が加わり、目標を達成した。 ①185人/200人=93% ②30団体/27団体=100% (①+②)/2=96%	町民課
92 ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー事業	【地方創生推進交付金】 地域で活躍する女性を前面にPRする町全体の取組の中で、女性が活躍できる町を県外へアピールし、女性を中心とした町内への移住定住の促進を図る。 セミナー開催(東京、大阪) ツアー開催 報償費 30千円 旅費 377千円 需用費 60千円 役務費 81千円 委託料(ツアー) 240千円 会場使用料 109千円	897	・7/14ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー(東京)参加者24人 ・8/19ゆうゆう、ゆりはま移住セミナー(大阪)参加者17人 ・9/22-24鳥取県の真ん中移住体験ツアー参加者4人	688	移住について具体的な相談に入っている女性の数:3人	100%	【評価:A 達成済、事業完了】 移住について具体的な相談に入っている女性の数:3人 3人/3人=100%	みらい創造室



(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
93 地域おこし協力隊事業	総合計画や過疎計画の進捗状況等を確認し、地域おこし協力隊の活用が有効と思われるものについて、その導入を働きかけ、またはその支援を行う。	0	◆隊員の募集を企画配置分を3回、みらい創造室配置分を6回実施した。結果、企画課に1名、みらい創造室に1名任用した。 ◆その他の部署では協力隊活用についての具体的検討はなされていない。	0	協力隊の任用1名	100%	【評価:D 計画より遅れている】 みらい創造室配置分の、募集2名に対し1名のみ任用に留まったが目標の任用1名は達成。	企画課
94 地域のにぎわいを創出する事業への支援①  コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。  (交付決定後、補正予算で対応) ◆通信運搬費 21千円  ◆補助金1件 1,400千円 ①南谷 ※6月補正予算計上	1,421	◆通信運搬費 1千円 ◆補助金1件 1,400千円	1,401	(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ■H30採択区への交付決定、H31募集案内など計画どおりに実施した。	企画課
95 地域のにぎわいを創出する事業への支援②  まちづくり創造事業・ステップ事業	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が永続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。  ◆交付補助金 700千円 1件200千円×3団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業) ◆役務費 2千円 ※県費:市町村交付金(1/2)	702	創造事業 1件200千円×1団体 ステップ事業 1件100千円×1団体	300	まちづくりを創造する団体の育成 創造事業 3団体 ステップ事業 1団体	50%	【評価:D 計画より遅れている】 ■交付決定団体数は目標に至っていない。 創造事業、ステップ事業合計2団体/4団体=50%	企画課

事業名	計画		実績		KPI		担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		評価
96 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ・集落運営交付金 ・自主防災組織運営交付金 ・防犯灯維持管理交付金 ・防犯灯設置交付金 ・集落活性化交付金 ◆補助金 計 36,407千円 ◆通信運搬費 62千円	36,469	・集落運営交付金(5/10支払) ・自主防災組織運営交付金(随時) ・防犯灯維持管理交付金(5/10支払) ・防犯灯設置交付金(随時) ・集落活性化交付金(随時) ◆補助金 計 34,319千円 ◆通信運搬費 53千円	34,372	集落づくり総合交付金:75地区	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 ■集落活性化交付金については、世帯数、事業実施の有無など、区の実情から申請のない区あったものの、全体としては計画通り事業を実施した。 75地区/75地区=100%	企画課
97 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④ 地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆補助金 3,632千円 ◆役務費 6千円	3,638	現在、12地域全てから申請を受け、交付決定をしている。 ◆補助金 3,558千円 ◆役務費 0円	3,558	地域にぎわい創出補助金:12地域	100%	【評価:C 計画どおりに進んでいる】 計画どおりに進んだ。 12地域/12地域=100%	企画課
98 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。 ◆補助金 11団体 500千円 ◆消耗品費 5千円 ◆通信運搬費 5千円	510	◆補助金 310千円 ◆消耗品 0千円 ◆通信運搬費 1千円 ※12団体に交付	311	NPO法人、ボランティアグループの数:2団体増 ※助成金を交付した団体	50%	【評価:D 計画より遅れている】 ■昨年交付団体が11団体に対し、今年度交付団体は12団体となり、1団体増加したものの、目標達成とならなかった。 1団体/2団体=50%	企画課

事業名	計画		実績		KPI		担当課	
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率		評価
99 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。30件以上の各種団体・集落における研修を実施する。また、自主防災組織を3地区以上設立する。 ◆社会保険料 388千円 ◆賃金 2,520千円 ◆旅費 10千円 ◆消耗品費 350千円 ◆通信運搬費 14千円	3,282	各種団体・集落における研修 22件 自主防災組織設立 0件 ◆社会保険料 346千円 ◆賃金 2,504千円 ◆旅費 30千円 ◆消耗品費 117千円	2,997	30件以上の各種団体・集落における研修を実施。また自主防災組織を3地区以上設立する。	37%	【評価：D 計画より遅れている】 組織化へ向けて引き続きその必要性を要請する。 ①30件以上の研修会開催：22回/30回=73% ②3地区以上の自主防災組織設立：0地区/3地区=0% (①+②)/2=37%	総務課
100 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるように拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。5力所想定 ◆400千円(平均助成額)×5力所=2,000千円	2,000	事業を活用して、3地区が公民館、集会所のバリアフリー改修を実施した。 ・公民館玄関に手すりを設置。 ◆助成額 28千円 ・公民館玄関、廊下に手すりを設置し、和式トイレを洋式トイレに改修。 ◆助成額 524千円 ・集会所2階への階段に手すりを設置。 ◆助成額 100千円 ・バリアフリー改修について、区長会で実例を紹介して周知を行った。	652	バリアフリー改修5地区	60%	【評価：D 計画より遅れている】 各地区の公民館、集会所のバリアフリー改修を行い、地域住民の利便性の向上を図った。 地区集会所・公民館等バリアフリー改修：実施3地区/目標5地区=60%	総合福祉課
101 買い物難民対策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きに、のりあいバス、移動販売、ネットスーパー、宅配サービス等の情報を集約し、必要に応じて情報提供を行い、買い物等不便者の解消を図る。 また、町社会福祉協議会が実施しているのりあいバス運行事業(平成30年度から週1回運行)の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図る。 ◆補助金 320,000円	320	・高齢者支援のための地域支え合いの手引きに記載すべき情報を随時収集し、必要に応じて情報提供している。 ・湯梨浜町社会福祉協議会が実施している「のりあいバス事業」に対し、移動支援事業補助金を交付した。 ・「のりあいバス」は2路線運行しており、月2～3回から週1回に運行回数が増え、利用者も増加している。 【のりあいバス登録者数】 H31.3.31現在 羽合 5人 泊 17人 東郷 18人 計40人 H30.3.31現在 羽合 7人 泊 15人 東郷 12人 計34人	291	社会資源の把握、啓発を行い、適切な支援につなげる。 また、のりあいバス事業に係る経費の助成を行い、事業運営の安定を図る。	100%	【評価：C 計画どおりに進んでいる】 買物支援にかかる社会資源の把握を随時行った。また、移動手段をもたない高齢者等の移動の利便性を図るため、町社会福祉協議会が2路線各週1回運行している「のりあいバス事業」に対し、移動支援事業補助金を交付した。 ①町社会福祉協議会への移動支援事業補助金交付：1回/1回=100%	長寿福祉課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
102 小さな拠点事業の推進	<p>【地方創生推進交付金】 泊地域において、住む人・場所、買い物、地域コミュニティ、行政などの各機能と各集落をつなげ、地域の再生を目指す取組を行う。 地域住民が主体となった協議会により検討、住民説明会等を進め、協議会からの提案書を基に基本計画策定と基本設計を実施する。 ◆協議会運営 315千円 ◆基本計画策定委託 3,914千円 ◆基本設計委託 6,244千円</p>	10,473	<p>5/8第1回協議会 5/16町へ提案書提出 7月委員任期満了による委員募集 8月新委員委嘱 9/11第2回協議会 10/9第3回協議会 10/29第4回協議会 11/29第5回協議会 2/14第6回協議会 3/7第7回協議会 3月基本計画策定</p>	4,060	小さな拠点計画の策定	100%	<p>【評価:A 達成済、事業完了】 計画策定済。コーディネーターとして地域活性化伝道師(内閣府)1名が協議会へ参加し計画策定を進めた。 1計画/1計画=100%</p>	みらい創造室
103 ICT推進事業①	<p>行政イントラシステムを活用を奨励し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 56千円</p>	56	<p>現在11スペース立ち上げ稼働中。 ・Torikyo-Net関係 ・情報政策関係 ・市町村マイナンバー ・市町村LGWAN ・セキュリティソリューション部会 ・次世代エネルギー推進 ・市町村公的個人認証 ・情報システム改元 ・電子決済、文書管理システム部会 ・自然公園関係 ・地域情報化関係 最終的な新規スペースは立ち上がりず他市町村からの要請もなかった。</p>	56	<p>県等によるスペース(ワーキンググループ)の立ち上げ件数: 30件</p>	36.7%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 ■主要なスペースはほぼ立ち上げされ、現状は頭打ち状態で目標に至っていない。 他市町村の動きも鈍化しており、目標達成はならなかった。 11件/30件=36.7%</p>	企画課
104 ICT推進事業②	<p>鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。</p>	1,762	<p>鳥取県と市町村で組織するICT共同化推進協議会の研修会への参加を呼びかけ、電子申請等の業務に対応可能な職員の育成に努めた。(6月 電子申請システム研修 6部署8名参加、9月 自治体クラウド研修 2部署2名参加、1月 自治体クラウド推進に向けた研修会 6部署 9名参加)今後も、研修への職員参加を呼び掛けていく。 電子申請様式については、取扱い手続きの追加1件(県知事・県議選の不在者投票用紙請求)のみ。研修への参加とともに、電子申請の利用を呼び掛けていく。</p>	1,744	<p>4部署以上の職員の研修参加・電子申請取扱い手続き5以上の追加</p>	60%	<p>【評価:D 計画より遅れている】 研修参加者は、呼びかけにより予定より多く推移したが、電子申請手続き様式は1件の追加のみ。今後、取り組みやすい手続きから追加し、電子申請に仕組みやすい環境整備に努める。 ①4部署以上研修会参加: 7部署/4部署=100% ②5以上の手続き追加: 1件/5件=20% (①+②)=60%</p>	総務課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
1 湯梨浜町総合戦略策定事業	湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。 ◆総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 戦略会議2回開催予定 44千円 ◆報告会、説明会、研修会への参加旅費 313千円 ◆消耗品の購入、郵券料 111千円 平成31年度も引き続き総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。第1期総合戦略の最終年として課題の洗い出し等の検証と次期総合戦略策定の準備を行う。	468			総合戦略会議、成果検証会議を各1回以上開催する			みらい創造室
2 農産物販路拡大及びブランド化推進事業	二十世紀梨販路拡大PR事業 30年度まで計画してきた進物用パンフレット作成については、内容などを再検討しJA東郷果実部で県の他事業を活用して作成していく。 販路拡大、単価増額については、初売りなどへ出向き販売PRをして増収につなげる。 【販売PRイベント】 芸人・観光大使活動謝金 72,000円 特別旅費 60,000円 PR用梨 10,000円	142			梨の平均単価の単価増(最終的には全品目で+100円/10kg)			産業振興課
3 鳥取梨等生産振興事業(農業生産現場強化事業)①	鳥取柿ぶどう生産振興事業 鳥取県が新規栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援する事業。 JAが要望を取りまとめたところ、柿、シャインマスカットとも新植希望者が無かったが、継続して普及促進を図っていく。 ■意見交換会を計画 ぶどう生産者との意見交換会を開催し、生産振興に向けた問題と改善策を整理し、制度設計も含め町の支援の在り方を検討する。	0			新品種(シャインマスカット)の新植面積の20a増			産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
4 鳥取梨等生産振興事業(農業生産現場強化事業)②	<p>・鳥取梨生産振興事業(地方創生)</p> <p>【事業内容】県が注力している新品種(新甘泉、秋甘泉、王秋)を中心に栽培に必要な資材(苗木、土壌改良剤等)・施設(果樹棚、かん水施設、園内道、SSなど)の整備を支援。</p> <p>【補助率】新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存の品種が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6)</p> <p>【対象者】町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合</p> <p>◆補助金 25,680千円</p> <p>内訳:新植・改植補助 1,020千円、省力化機械導入補助 6,866千円、かん水施設補助 1,826千円、多目的防風網整備補助 8,877千円、果樹棚整備補助 3,200千円、育成奨励金 3,248千円、低コスト・育苗委託 637千円</p>	25,680			対象農業者による省力化防除面積の20%増			産業振興課
5 東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>(H27からの先駆型継続事業)後継者のいない梨園を借りて梨を栽培し、産地の維持に寄与するとともに規格外の梨を加工品用に出荷する等で6次産業化を目指す取り組みに対して支援。</p> <p>【補助金】2,000千円(定額)</p> <p>【事業者】東郷梨地域連携栽培プロジェクトチーム(産官学農福による連携プロジェクト)</p>	2,000			梨栽培面積30a増			産業振興課
6 二十世紀梨を守る事業	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>県事業の対象とならないオリジナルの二十世紀梨の苗木やハウス二十世紀梨の資材(苗木など)、ハウスの機能強化・強度向上に対して支援を行う。</p> <p>【補助率】 1/2</p> <p>【対象者】 町内で二十世紀梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合</p> <p>◆補助金 1,578千円</p> <p>内訳:苗木・栽培資材支援 78千円、ハウス更新、機能向上支援 1,000千円、果樹棚、かん水施設設置支援 500千円</p> <p>ハウス新設 3,500千円</p>	5,078			新植またはハウス梨の機能向上面積を50a以上の増とする			産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
7 湯梨浜版担 手認定	<p>○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業 【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織 【支援内容、補助率等、対象者】 ○就農奨励金：就農3年以内の対象者に定額30万円、④ ○新規就農者住宅家賃補助：町外から転入する就農者に家賃の1/2(上限2万円)を補助、③・④ ○中古機械導入補助：中古機械導入費の1/3(上限10～50万円)を補助、①・②・③・④・⑤ ○農業機械修理補助：農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5～30万円)、①・②・③・④・⑤</p>	2,340			準認定新規就農者：1人増 準認定農業者：2人増			産業振興課
8 中核的担い 手農家育成 奨励金交付 事業(農業 生産現場強 化事業)	<p>【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受けた場合、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けた場合も対象としている。 町内者：2,000円/10a×年 町外者：1,000円/10a×年</p>	1,200			権利設定面積 10ha			産業振興課
9 知的所有権 取得支援	<p>○知的所有権取得支援事業 知的財産権(登録商標、GIマーク、意匠権など)の申請・取得を希望する事業者に対して経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限15万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金150千円×1団体=150千円</p>	150			新規取得：1 件			産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
10 パッケージデザイン作成助成事業	○パッケージデザイン作成助成事業 町内で製造された農産物の販売、または町内産の原料糖を使用した加工品を製造販売する際に必要な、商品のパッケージデザインを新たに行う事業者に対し、経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限8万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金 80千円×1団体=80千円	80			新規作成: 1件			産業振興課
11 砂丘農業復活プロジェクト事業	羽合砂丘地(畑)において、農地中間管理事業を活用し、(農)みどり生産組合に5haの農地を権利設定を行うよう事業推進する。生産作物は芝(米産、ティフブランド)。また、次に規模拡大する場合、地権者との協議を実施する。 ・29年度に2.1ha利用権設定 ・30年度は芝需要の減少から利用権設定は無かった ・31年度は引き続き残り2.9haを提示することを目標とする	0			耕作者への利用権設定提示面積 2.9ha			産業振興課
12 種苗放流支援事業	○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 274千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 266千円	540			シジミ漁獲量 30t増			産業振興課
13 沿岸漁業活性化推進事業	町内の漁業者が省エネルギー化により漁業経営改善を図るために、省エネ型エンジンを購入するための経費に対して補助支援する。 県漁協、中部漁協で要望を取りまとめたところ今年度の導入希望者は無かったが、引き続き導入促進を図る。	0			省エネ型エンジン搭載漁船: 1隻増			産業振興課
14 海の駅とまりブランド化事業	【地方創生推進交付金】 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通して目標の達成を目指す。 ◆補助金 2,040千円 内訳: ブランド構築のためのコーディネート業務 1,540千円、新商品製造販売支援 500千円	2,040			オリジナル商品の開発: 2件			産業振興課



(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
15 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進①	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化に向け、プロモーションDVDの多言語化を推進する。本年度はマレーシア語、ハンガリー語、インド語の3言語版を追加。 ◆多言語DVD作成委託料 654千円 ◆筆耕翻訳料 561千円	1,215			推進交付金 ①海外からのイベント参加者数 301人 ②海外からのイベント新規参加国数 3カ国			産業振興課
16 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進②	グラウンド・ゴルフの国際化及び潮風の丘聖地化に向け、潮風の丘の施設等整備を行う。 ◆潮風の丘とまりアウトコースの芝生の改設 48,521千円	48,521			推進交付金 ①海外からのイベント参加者数 301人 ②海外からのイベント新規参加国数 3カ国			産業振興課
17 グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進③	【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化のため、PR活動・実行委員会を通じた国際大会の開催・国際組織設立に向けた準備や、用具海外販売を促進する。 ◆ルール普及2,527千円 スリランカ及びモルディブ(調整中) フィリピン(打診中) 中国・上海(国際大会に参加予定) ◆用具提供2,207千円 未普及国を中心に用具を贈呈するとともに、湯梨浜まちづくり(株)による販売をPRする。 ◆国際組織設立準備678千円 5月の町国際大会時に日本GG協会が主導し、規程集を各国に示す予定。 ◆国際大会支援4,680千円 町国際大会実行委員会に補助金を交付するほか、当該大会海外参加者に対し宿泊費を助成する。	10,092			推進交付金 ①海外からのイベント参加者数 301人 ②海外からのイベント新規参加国数 3カ国			みらい創造室
18 ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進①	【地方創生推進交付金】 町の認定したウォーキングコースを生かし、国内外の交流人口増加と地域活性化を目指す。湯梨浜町ウォーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。 ◆済州オルレとの友情の道事業委託費 2,836千円	2,836			推進交付金 ①海外からのイベント参加者数 301人 ②海外からのイベント新規参加国数 3カ国			健康推進課

## 湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

令和元年度事業計画

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
19 アロハカーニバル事業【I:③商工業の振興にも掲載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風アレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、ヘルシーツーリズム展開業務等との連携により、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: オープニングイベント 300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等) 505千円  イベントPR費用 650千円 事務費50千円 計1,505千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	1,250			①新メニュー提供店舗数:15店舗以上 ②新メニュー提供数:2,000食以上			産業振興課
20 天女のふる里づくり事業①	①東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」事業の一層の伸展に向け、地域おこし協力隊制度を活用して緑化・植花の取り組みを推進する。 ◆非常勤職員報酬 1,992千円 ◆社会保険料 336千円 ◆委員報償費等 154千円 ◆委員旅費 118千円 ◆消耗品 15千円 ◆通信運搬費 13千円 ◆交付金 1,664千円 ②花と緑のまちづくり支援事業補助金の交付 ◆補助金 400千円	4,692			①住民参加による緑化・植花の取組:2件			企画課
21 天女のふる里づくり事業②	①-1 天女を活用したまちづくりの一環として関係自治体へのイベント参加交流を実施 ①-2 子どもたちへの羽衣天女伝説の認知度向上を目的にパンフレットを制作し、配付 ◆イベント参加旅費 51千円 ◆消耗品 45千円 ◆印刷製本費 65千円 ◆通信運搬費 10千円 ◆モニュメント保険料 3千円 ◆高速道路使用料等 28千円 ②宇宙桜やハナミズキ、宙ユリなど花関連の情報を発信する。	202			①イベント参加:2回 ②花関連情報の新聞、ニュース等での取り扱い:2回			企画課
22 天女のふる里づくり事業③	・宇宙桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29に実施。宇宙の桜=「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹2年目) ◆旅費 281千円 ◆消耗品 53千円	334			宇宙桜に関連した住民参加による取組:2回			企画課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
23 天女のふる里づくり事業④	・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。 ◆積立金 1,000千円	1,000			寄付金額を100万円とする。			企画課
24 天女のふる里づくり事業⑤	・町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」の活用を進める。 ◆旅費、メンテナンス、通信運搬費等 178千円	178			デザイン活用45件 着ぐるみ活用45件			産業振興課
25 水明荘経営改善事業	国民宿舎水明荘は年々宿泊客数、休憩客数が漸減している。これまでの経営診断結果をもとに、今後の水明荘について長期的な経営ビジョンを作成するため、建築・設備の改修や更新が必要となる時期・概算経費などを調査することで経営の安定化を図り、宿泊客等をはじめとする観光入込客数を増やし、温泉地の振興及び町の活性化を図る。 ◆保全計画作成業務委託料 3,554千円	3,354			ネット評価:4.2以上			産業振興課
26 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	・鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県蒜山地域の連携を深め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。 ◆会費 531千円	531			推進交付金 中部エリア(H31.3) ①年間観光入込客数 100,000人(H30増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(H30増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人(H30増加分)			産業振興課

事業名	計画		実績		KPI		担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	
27 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	<p>【地方創生推進交付金】 中部地域及び岡山県蒜山地域の観光プラットフォーム機能を充実させて次の事業を実施する。 広域観光連携推進事業負担金 22,000千円 おもてなし、受入環境整備事業 温泉地イメージ戦略事業 情報発信事業 プロモーション推進事業 誘客戦略事業 ◆湯梨浜町負担金 3,604千円</p>	3,604			<p>推進交付金 中部エリア(H31.3) ①年間観光入込客数 100,000人(H30増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(H30増加分) ③年間外国人宿泊客数 4,000人(H30増加分)</p>		産業振興課
28 教育旅行のメニュー開発事業	<p>教育旅行商品の企画造成を行う。 ◆町観光協会補助金 9,860千円</p>	9,860			<p>2年後の修学旅行等の予約:10件</p>		産業振興課
29 〈再掲〉海の駅とまりブランド化事業 【I:①農林水産業の振興にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】 泊地域の事業者が交流人口を増加させるために、海の駅とまり協議会を設立。地域資源を活用した観光や特産品などのオリジナル商品の開発を通して目標の達成を目指す。 ◆補助金 2,040千円 内訳:ブランド構築のためのコーディネート業務 1,540千円、新商品製造販売支援 500千円</p>	2,040			<p>オリジナル商品の開発:2件</p>		産業振興課
30 ゆうゆうゆりはま事業	<p>【地方創生推進交付金】 ◆都市圏ブランド周知イベント ・首都圏で写真展、湯梨浜町セミナーを開催 ◆イベント用コンテンツ制作 ・ポスター、冊子の制作、ホームページ運営 ・「ゆうゆうMAP」の制作 ◆ブランド周知PR ・ふるさとサミット(A級グルメフェア)開催 ・SNS等を活用した情報発信</p>	21,735			<p>新規就業者数(常用雇用者数) 200人(年間)</p>		産業振興課
31 食と健康のまちづくり事業	<p>【地方創生推進交付金】 タニタヘルスツーリズムの展開 ・飲食店とタイアップしたタニタ監修メニューの提供 ◆タニタヘルシーツーリズム展開業務委託料 飲食店向け健康メニュー監修費 880,000円 飲食店マップ作成費 220,000円</p>	1,100			<p>【目標】 ヘルスツーリズム参加者数(監修メニュー提供数) 500人</p>		産業振興課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
32 ゆりはまじげ産業支援事業	町内での起業や新事業に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 一般2,000千円×1事業者+事業承継3,000千円×1事業者=5,000千円	5,000			起業や新事業への取り組みの支援1件以上			産業振興課
33 チャレンジショップ支援事業【I:④雇用の推進にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆補助金 継続分2件265千円+新規分1件480千円=745千円	745			新規申請1件			産業振興課
34 〈再掲〉アロハカーニバル事業【I:②観光産業の振興にも記載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風にアレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、ヘルシーツーリズム展開業務等との連携により、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: オープニングイベント 300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等) 505千円 イベントPR費用 650千円 事務費50千円 計1,505千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	1,250			①新メニュー提供店舗数:15店舗以上 ②新メニュー提供数:2,000食以上			産業振興課
35 ふるさと名物応援事業	国の補助金を活用した4事業者が、ふるさと名物関連商品の販売とその販路開拓を進める。加えて、国の補助対象外および4事業者以外にも事業に取り組む事業者を町として支援し、ふるさと名物のさらなる普及に努める。 ◆補助金 150千円×2事業者=300千円	300			新規申請1件以上			産業振興課
36 環境創出プロジェクト事業	町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を目指す。 ◆対象事業費3,435千円(委託料3,284千円:生ごみ収集運搬、報償金10千円:生ごみ回収協力区への報償、消耗品費141千円:生ごみ収集に係る事務経費)	3,435			生ごみ回収協力区の拡大 H30末 10区 ⇒ H31末 11区以上			町民課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
37 看護師、保育士奨学金助成事業 (ふるさと奨学金支援助成事業) 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭。 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆無利子:180千円 ◆有利子:135千円	390			申請者(新規) 5人			教育総務課
38 〈再掲〉 チャレンジショップ支援奨励金 【Ⅰ:③商工業の振興にも記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆補助金 継続分2件265千円+新規分1件480千円=745千円	745			新規申請1件			産業振興課
39 雇用促進奨励金事業①	・雇用促進奨励金 新たに町内在住者が町内の事業所で正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。新規雇用1人あたり200千円(新卒者は300千円)。 ◆補助金 200千円×5名分=1,000千円	1,000			新規雇用者5人			産業振興課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
40 雇用促進奨励金事業②	<p>・県中部雇用促進奨励金事業 新たに町内在住者が中部圏域内の県企業立地事業補助金の対象となった事業所で正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金を交付する。新規雇用1人あたり300千円。中部圏域市町が連携して取り組む事業(各市町で補助要綱作成)。 本年度は対象者がいないため、予算執行なし。また本制度は本年度までの事業となっているため、今後の中部圏域市町で本制度の今後を検討したい。 ◆補助金 0千円</p>	0			来年度以降の本制度の方向性を検討する。			産業振興課
41 就職関連情報提供事業	<p>県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する。</p>	0			情報提供1件以上			産業振興課
42 中部圏域への企業誘致推進事業(広域連携)	<p>圏域の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、関西事務所などを活用して情報提供を行う。学校跡地利用検討の状況も踏まえ、該当があれば必要な情報提供を効果的に進めていく。</p>	0			提供する情報の収集2件以上			産業振興課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
43 子育て支援事業	低年齢児(満1歳6カ月未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満1歳6カ月に満たない乳幼児を、昼間家庭で子育てをする父母又は祖父母に対し給付金を支給。育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆6,500千円/3カ月×4回=26,000千円	26,000			年度末時点で1歳6か月未満児の家庭での子育て率を88.4%以上とする。			子育て支援課
44 多子世帯保育料軽減事業	平成31年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず 第3子以降児無償、第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の第2子、無償。年収360万円以上の世帯。同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず第2子軽減	0			第3子以降児の出産件数を平成31年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)			子育て支援課
45 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業 (第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金支給事業を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。 (H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 2,706千円 出産時 50,000円 × 30名 = 1,500千円 小学校入学時 30,000円 × 19名 = 570千円 中学校卒業時 30,000円 × 21名 = 630千円 通信運搬費 6千円	2,706			第3子以降児の出産件数を平成31年度まで毎年30人とする。(出産祝い金支給ベース)			子育て支援課
46 子育て世代包括支援センターの整備①	・子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し妊娠、出産から就学前までの切れ目ない支援をめざす。 コーディネーターを配置し、必要な支援やサービスが受けられるよう情報提供、関係機関調整などを行う。 妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学までのそれぞれの時期に対象者全員への子育てプラン提供、支援の必要な方への子育て応援プランの提供等を行う。  ◆消耗品費、通信運搬費 71千円	464			○子育てプラン配布:妊娠届者全員、乳幼児健診受診者:全員 ○子育て応援プラン作成:妊娠届時必要と判断した人全員(30人程度) ○町内関係機関(要対協事務局・子育て支援センター)との情報共有の会:年10回 ○産科医療機関との会:1回			子育て支援課



事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
47 子育て世代包括支援センターの整備②	<p>・産前産後サポート事業 妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個別に相談に対応する。 パート保健師賃金 【アウトリーチ型】 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】 公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用者からの相談に対応する。 ◆職員賃金等 1,061千円、消耗品費 10千円</p>	1,071			アウトリーチ型：年30件 デイサービス型：年12回			子育て支援課
48 子育て世代包括支援センターの整備③	<p>・産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘルパー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により虐待の未然防止も図る。 【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ細かい支援を行う。 【デイサービス型】 日中来所した者に対し、個別又は集団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。 ・母子来所 ・乳児一時預かり 【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行う。 【産前産後ヘルパー派遣事業】主に出産後間もない時期に、家事支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行う。 ◆助産師報償費 34千円、委託料 191千円(ヘルパー派遣・ショートステイ・デイサービス等)</p>	225			訪問型：10件 宿泊型：2件 デイサービス型：11件 ヘルパー派遣事業7回			子育て支援課
49 不妊治療費助成事業	<p>県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。 【治療の種類】 ◆特定不妊治療費 見込み15件 1,413千円 ◆人工授精費 見込み 4件 24千円 ◆不育症治療費 見込み 1件 50千円</p>	1,487			利用件数 特定不妊治療15件、人工授精4件、不育症治療1件			子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
50 ファミリーサポートセンター事業の充実	子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。 調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。 事業PR, 会員の確保。 預かり体験。 ◆職員賃金等 1,899千円 ◆講師謝金、消耗品、郵券料 67千円 ◆活動保険料 79千円	2,045			実利用者数の増。 年間実利用者数を前年の1.5倍とする。(6人×1.5=9人)			子育て支援課
51 18歳年度末までの医療費助成事業	小児医療対象者への医療費の給付(現物・現金)を実施する。 ◆特別医療費助成(小児) 51,837千円	51,837			【目標】 新規対象者(出生・転入者)のうち、95%以上の方に受給資格証を申請していただくよう周知に努める。			健康推進課
52 病児・病後児・夜間保育事業	◆病児保育:68人(定住自立圏構想での取組。事業受託者ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 532千円 ◆病後児保育:22人(定住自立圏構想での取組。事業受託者十字会。実施場所野島病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 399千円 (上記は引き続き定住自立圏で取り組む)	931			利用者数 病児保育 68件 病後児保育 22件			子育て支援課
53 SNS等による子育て支援情報の提供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育て情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。 関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 委託料 393千円	393			子育てアプリ等による情報発信。年間母子手帳交付数に対し、子育てアプリ登録者数を95%以上とする。			子育て支援課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
54 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進①	放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後子ども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学习の広場事業と連携実施する。 ◆羽合第1:6,944千円、羽合第2:11,618千円、東郷第1:6,966千円、東郷第2:7,061千円、泊:8,330千円	40,919			利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3月利用について100%とする。			子育て支援課
55 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進② ゆりはま自主学习の広場事業(放課後子ども教室)	・羽合西コミュニティ及び町内3小学校の空き教室を使用し、年間35回程度の学習支援活動を行う。週1回は放課後(月3回予定)と夏季休業中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。 ◆報償費 1,216千円、消耗品・燃料費 72千円 保険料 88千円、通信運搬費 12千円	1,388			運営委員会を開催し、各小学校等で子ども教室を実施し、学習習慣の定着を図る。児童数60名とする。			教育総務課
56 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進③	放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進する。 H30年度は、羽合地域(長瀬、東田後)、東郷地域(舎人、大介)、4放課後子ども教室を実施したが、H31年度から新たに羽合地域の橋津公民館において、学習支援を主とした教室を週2回計画している。町全体で5教室の予定。 ◆報償費(5教室分) 2,773千円、消耗品費 167千円	2,940			放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。 年間参加延児童数2,800名以上とする。			生涯学習・人権推進課
57 ゆりはま自主学习の広場事業 (ゆりはま地域未来塾)	在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の放課後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に実施。基礎学力の定着と学習習慣の定着を目指すものであり、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。 ※国事業:『学校・家庭・地域の連携協力推進事業』を活用(補助率:国、県、市町各1/3) ◆報奨金 250千円、消耗品 22千円、郵券料 4千円 保険料 48千円	324			運営委員会を開催し、中学校1年生を対象に地域未来塾を実施し、基礎学力と学習習慣の定着を図る。 対象生徒数の約20%の参加を目標とする。			教育総務課



(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
62 介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)養成事業	介護予防・健康づくりリーダーの養成を着実に実施していくとともに、リーダー実習を支援して自主的活動展開へとつなげる。(5年計画の最終年度(5期目)) ◆講座講師報償金 82千円 ◆実習参加謝礼 34千円 ◆講座テキスト代 40千円 ◆消耗品の購入、郵券料 48千円	204			介護予防・健康増進リーダー養成者数:23人 実習参加(4期生):1人2回以上 サロン実施(1~3期生):1人1回以上			長寿福祉課
63 歯・口の健康づくり推進事業	今年度から町立の中学校においても町が実施主体となり、教育委員会(学校現場)、歯科医師等関係者と連携を図りながら実施していく。 ◆歯科保健指導、検討会出席謝金 35千円、消耗品・郵券料 275千円、洗口液作成・配達委託料 959千円	1,269			【目標】 町立小・中学校で効果的な実施ができるようにする。 (虫歯罹患率等の減少。前年度以下。)			健康推進課
64 健康相談・健康教室等の実施①	温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣) 年間計画に沿って実施(週2回、年82回) ◆講師謝金 328千円	328			【目標】 教室参加人数を1,200人以上			健康推進課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
65 健康相談・健康教室等の実施②	【地方創生推進交付金】 つみたて貯筋運動教室他 町内の体育施設を利用して、健康体操を中心に開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。 ◆講師謝金 144千円、消耗品・郵券料43千円 ◆委託費 972千円	1,159			【目標】 各運動教室参加者 15名/回			健康推進課
66 健康相談・健康教室等の実施③	【地方創生推進交付金】 居住地区周辺でのウォーキング教室開催により、ウォーキングの習慣化を図り、町民の健康につなげる。 ◆消耗品(チラシ購入)87千円 ◆委託費 113千円	200			【目標】 運動効果の周知により、ノルディックウォーク教室の参加者を前年比110%とする。			健康推進課
67 鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携	【地方創生推進交付金】 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。 ◆地区での健康教室に係る消耗品 31千円 ◆まちの保健室鳥取看護大学委託料 105千円	136			【目標】 モデル地区2地区選定。 まちの保健室の開催			健康推進課
68 食と健康のまちづくり事業	【地方創生推進交付金】 タニタ健康プログラムの推進 ・タニタ健康システムの運用 ・タニタ健康プログラムの推進 ◆食と健康のまちづくり事業 委託料5,557千円 活動量計ID、サイト等 使用料3,960千円 景品 1,100千円 協議会報償費 172千円	10,789			【目標】 運動管理システム(活動量計)を利用した「ゆりはまヘルシーくらぶ」の会員を最終600名とする。			健康推進課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
69 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進① 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進)</p> <p>28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」との連携など官民が一体となり推進していく。</p> <p>◆生涯活躍のまち推進事業2,256千円</p> <p>生涯活躍のまちセミナー1,916千円 旅費803千円、役務費46千円、委託料961千円、使用料106千円</p> <p>移住体験ツアー委託 340千円</p> <p>平成31年度は、昨年度作成したレークサイド・ヴィレッジゆりはまコンセプトブックなどともに都市部でのPRを行う。</p>	2,256			<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者:200人(H31)、980人(R2)</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(R2)</p>			みらい創造室
70 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進② 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	<p>・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち)</p> <p>地域おこし協力隊5名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業及び泊小さな拠点(買い物機能、コミュニティ機能)の運営などの中核を担い、活動するもの。</p> <p>【地域おこし協力隊】</p> <p>・まちづくり会社で活動(4名) 15,968千円</p> <p>・泊小さな拠点運営(1名) 2,991千円</p>	18,959			<p>〈推進交付金〉</p> <p>①県外からの移住者:200人(H31)、980人(R2)</p> <p>②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(R2)</p>			みらい創造室
71 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進④ 【Ⅲ:①移住定住の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。</p> <p>◆地区での健康教室に係る消耗品 31千円</p> <p>◆まちの保健室鳥取看護大学委託料 105千円</p>	136			<p>【目標】</p> <p>モデル地区2地区選定。 まちの保健室の開催</p>			健康推進課

(単位:千円)

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
72	縁結び支縁員事業	晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支縁員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。 ◆縁結び支縁員 情報交換会、研修会 出席報償金 40千円 ◆婚姻成立時報償金 72千円	112			縁結び支縁員事業等により婚姻した件数:年1件			企画課
73	婚活イベント事業(広域連携)	中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。 ※中部定住自立圏事業で実施する。 ・広域連合負担金 200千円	200			平成30年度に広域連携による婚活イベントを実施。 パーティー型イベント:2回 婚活セミナー:3回			企画課



(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
74 IJUターン促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。 《H31予算額》4,214千円(報償費40千円、旅費349千円、需用費60千円、役務費41千円、委託料3,500千円)	4,214			移住について具体的な相談に入っている者数:5人			みらい創造室
75 空き家情報バンク活用促進事業	①空き家情報バンクの運用により空き家所有者と利用希望者のマッチング、紹介を行う。 ②空き家情報バンク登録物件に県内からの町外者が転入する場合に、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:250千円 補助率1/2 予算:250,000円×2件=500,000円 《H31予算額》補助金 500千円	500			①町外(県内)利用者からの空き家バンク物件成約数:1件 ②町空き家改修補助金利用:1件			企画課
76 空き家対策事業	空き家改修事業補助金 移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 《H31予算額》補助金 500千円×2件	1,000			移住希望者へ空き家提供:2件			企画課
77 移住定住者住宅支援事業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《H31予算額》4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件	4,500			県外からの転入者の定住:4件			企画課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
78 移住定住者住宅支援事業②	・ゆりはま定住モデルハウス事業 土地開発公社分譲地を購入した上でモデルハウスを建築し、1年以上運営する事業者(ハウスメーカー等)に対して、補助金を交付することで、本町への移住定住と分譲販売の促進を図る。(H31は計画認定のみ。債務負担行為設定済) ◆報償費 5千円 ◆通信運搬費 2千円	7			モデルハウス補助金計画認定1件			企画課
79 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業	町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらうことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ボランティア受入報償金 100千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)60泊 328千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 6千円	460			ボランティア従事者:20名			企画課
80 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×51件=25,500千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分) 100千円×13件=1,300千円 新築・購入(土地開発公社) 1件 1,000千円 合計 52件、27,800千円	27,800			若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:52件			企画課
81 三世代同居世帯等支援事業	三世代家族の形成と子育ての支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世代で同居するための住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に対して助成を行う。 500千円×5件 2,500千円	2,500			新たな三世代家族の定住:5件			企画課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
82 移住者運転免許証取得支援事業	<p>■県外からの移住者が自動車運転免許証を取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×3人 450千円</p> <p>■県外からの移住者がペーパードライバー講習を受講した場合、受講料の一部を助成する。 10千円×5人 50千円</p>	500			<p>◆県外からの移住者の免許取得:3人</p> <p>◆県外からの移住者のペーパードライバー講習受講者:5人</p>			企画課
83 住宅取得仲介報酬助成事業	<p>中古住宅及び新築住宅用土地(いずれも集合住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬の一部を助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×10件 1,300千円</p>	1,300			<p>中古住宅及び新築住宅用土地購入による、町内への定住:10件</p>			企画課
84 お試し住宅運営事業	<p>古民家を活用したお試し住宅と、街なかに新設したお試し住宅を設置して、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらうとともに、空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住民の交流による地域活性化及び定住促進を図る。 今年度は、もりた屋の改修をし、さらなる利用促進を図る。 お試し住宅指定管理をまちづくり会社として運営する。</p>	994			<p>お試し住宅利用件数:24件</p>			みらい創造室
85 〈再掲〉ふるさと奨学資金貸与事業(名称変更:ふるさと人材育成奨学金支援助成金事業) 【I:④雇用の推進にも記載あり】	<p>ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭。 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆無利子:180千円 ◆有利子:135千円</p>	390			<p>申請者(新規)5人</p>			教育総務課

	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
86	<p>〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進①【Ⅱ:②地域福祉の推進にも記載あり】</p>	<p>【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯梨浜まちづくり株式会社」との連携など官民が一体となり推進していく。 ◆生涯活躍のまち推進事業2,256千円 生涯活躍のまちセミナー1,916千円 旅費803千円、役務費46千円、委託料961千円、使用料106千円 移住体験ツアー委託 340千円 平成31年度は、昨年度作成したレークサイド・ヴィレッジゆりはまコンセプトブックなどともに都市部でのPRを行う。</p>	2,256			<p>〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)</p>			みらい創造室
87	<p>〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進②【Ⅱ:②地域福祉の推進にも記載あり】</p>	<p>・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち) 地域おこし協力隊5名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業及び泊小さな拠点(買い物機能、コミュニティ機能)の運営などの中核を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(4名) 15,968千円 ・泊小さな拠点運営(1名) 2,991千円</p>	18,959			<p>〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H29)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H29)、27団体(H32)</p>			みらい創造室

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
88 〈再掲〉 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進④ 【Ⅱ：②地域福祉の推進にも記載あり】	<p>【地方創生推進交付金】 モデル事業を選定し、地区及び看護大学と連携し、事業実施にむけ協議や健康教室を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地区での健康教室に係る消耗品 31千円</li> <li>◆まちの保健室鳥取看護大学委託料 105千円</li> </ul>	136			<p>【目標】 モデル地区2地区選定。 まちの保健室の開催</p>			健康推進課
89 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進⑥	<p>町営住宅建替えについて、生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点としての整備計画の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設場所</li> <li>・規模(戸数)</li> <li>・財源計画</li> <li>・用地取得</li> <li>・事業要望 等</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公営住宅等の長寿命化計画策定(5,720千円)</li> <li>●ゆりはまレークサイドヴィレッジへの町営住宅建設に係るPFI導入可能性調査(5,896千円)</li> </ul>	11,616			<p>〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:200人(H30)、980人(H32) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(H30)、27団体(H32)</p>			町民課

(単位:千円)

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
90 地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活用が有効と思われる分野について、関係課の予算措置に基づき、隊員募集を企画課で行う。	0			協力隊の任用3名 (みらい創造室分)			企画課
91 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援①  コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 ◆通信運搬費 21千円  (交付決定後、補正予算で対応) ◆補助金2件 3,900千円 ①はわい温泉区会2,100千円 ②野方区公民館1,800千円 ※6月補正予算計上	3,921			(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。			企画課
92 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援②  まちづくり創造事業・ステップ事業	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 ◆交付補助金 700千円 1件200千円×2団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業) ◆役員費 2千円 ※県費:市町村交付金(1/2)	502			まちづくりを創造する団体の育成 創造事業 2団体 ステップ事業 1団体			企画課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
93 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援③  集落づくり総合交付金事業	集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ・集落運営交付金 ・自主防災組織運営交付金 ・防犯灯維持管理交付金 ・防犯灯設置交付金 ・集落活性化交付金 ◆補助金 計 37,140千円 ◆通信運搬費 62千円	37,202			集落づくり総合交付金:75地区			企画課
94 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援④  地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円  ◆補助金 3,625千円 ◆役務費 6千円	3,631			地域にぎわい創出補助金:12地域			企画課
95 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援⑤  ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成支援事業 ボランティア団体の育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する団体を支援する。  ◆補助金 11団体 500千円 ◆消耗品費 5千円 ◆通信運搬費 5千円	510			NPO法人、ボランティアグループの数:2団体増 ※助成金を交付した団体			企画課

事業名	計画		実績		KPI			担当課
	内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
96 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。30件以上の各種団体・集落における研修を実施する。また、自主防災組織を3地区以上設立する。 ◆社会保険料 400千円 ◆賃金 2,520千円 ◆旅費 10千円 ◆消耗品費 150千円 ◆通信運搬費 10千円	3,090			30件以上の各種団体・集落における研修を実施。また自主防災組織を3地区以上設立する。			総務課
97 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるように拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。 ◆補助金 2,000千円 より多くの地区にバリアフリー改修を実施していただくため、各区長に改めて事業内容等についてお知らせし、改修の必要性を検討いただいたのち、実施を呼びかける。	2,000			バリアフリー改修9地区			総合福祉課
98 買い物難民対策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きに、のりあいバス、移動販売、ネットスーパー、宅配サービス等の情報を集約し、必要に応じて情報提供を行い、買い物等不便者の解消を図る。 また、町社会福祉協議会が実施している「のりあいバス運行事業(週1回運行)」の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図る。 ◆補助金 344,000円(当初予算)	344			社会資源の把握、啓発を行い、適切な支援につなげる。 また「のりあいバス事業」に係る経費の助成を行い、事業運営の安定を図る。			長寿福祉課



	事業名	計画		実績		KPI			担当課
		内容	予算額	内容	執行済額	目標	達成率	評価	
99	小さな拠点事業の推進	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>泊地域において、住む人・場所、買い物、地域コミュニティ、行政などの各機能と各集落をつなげ、地域の再生を目指す取組みを行う。</p> <p>地域住民が主体となった協議会により協議しながら買い物機能拠点の運営方法の検討、基本設計を実施する。</p> <p>◆協議会運営 354千円 ◆基本設計委託 3,876千円</p>	4,230			小さな拠点運営団体の設立			みらい創造室
100	ICT推進事業①	<p>行政イントラシステムを活用を奨励し、県内自治体間における業務効率化を促進する。</p> <p>◆負担金 56千円</p>	56			県等によるスペース(ワーキンググループ)の立ち上げ件数: 30件			企画課
101	ICT推進事業②	<p>鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。</p>	901			5部署以上の職員の研修参加・電子申請取扱い手続き5以上の追加			総務課

## 基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

活力ある元気なまちづくりを行うため、地域資源を活かした個性豊かな産業の振興に努めながら、既存産業の充実はもとより、様々な産業の連携による新たな活力を創出します。

### ●数値目標（平成31年度）

指標	数値目標
温泉宿泊客数	16万人（年間）
新規就業者数（常用雇用）	200人（年間）

### ●基本的方向

- 二十世紀梨等の特産物を活かした果物大国を目指す農業、東郷池のシジミや日本海の豊富な水産物を活かした漁業、町土の半分を占める森林を活かした林業、地場産業の振興に努めます。
- 温泉や歴史・文化、自然・健康、環境を活かした観光の振興を図り、交流人口の増加に努めます。
- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウオーキング」など本町の特性を活かしたまちづくりを推進します。
- 行政、町内の様々な団体、企業などによる連携体制を強化し、商工業の発展に努めます。
- 企業の新規立地や付加価値向上のための様々な取り組みを行うことにより、人材育成と雇用の確保に努めます。

### ●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

#### ①農林水産業の振興

##### 《具体的施策》

- 二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進
- 新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進
- 農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓
- 遊休農地及び耕作放棄地解消への対策
- 東郷池や日本海の豊富な水産物を活かした漁業の振興
- 森林を活かした林業の振興

##### 《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
梨栽培面積	180ha	180ha
梨新品種への改植・新植	1.5ha	5.0ha
新規就農者	8人	15人
認定農業者（家）数	37経営体	50経営体
GIマーク、商標権、意匠権等の取得件数	0件	3件（H27～31）
利用権設定面積	219.5ha	252.0ha
シジミの漁獲量	45t	200t
漁業経営体数	49経営体	49経営体
鉢伏林道周辺に係る施業面積	4ha	9ha

《具体的事業》

- 農産物販路拡大及びブランド化推進事業
- 鳥取梨等生産振興事業（農業生産現場強化事業）
- 東郷梨栽培促進事業（農業生産現場強化事業）
- 東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業
- 果樹園等維持管理・流動化促進事業
- 湯梨浜版担い手認定
- 中核的担い手農家育成奨励金交付事業（農業生産現場強化事業）
- がんばる農家プラン支援事業（農業生産現場強化事業）
- もうかる6次化・農商工連携支援事業
- 知的所有権取得支援
- パッケージデザイン作成助成事業
- 砂丘農業復活プロジェクト事業
- 温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開
- 種苗放流支援事業
- 地域資源商品化支援事業
- 港の資源振興事業
- 沿岸漁業活性化推進事業
- 特産品開発推進事業
- 鉢伏林道整備促進事業
- クヌギ原木林造成事業

②観光産業の振興

《具体的施策》

- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウオーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進
- はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上（滞在型観光・周遊観光の推進）
- 天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進
- 観光客に対応した Wi-Fi の整備、誘客キャンペーンなどの推進（多言語対応、利便性の向上）
- 戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
海外からのイベント参加者数	55人	1,170人
海外からのイベント参加国数	2カ国	25カ国
スッポン出荷数	0匹	2,000匹
新規 Wi-Fi 整備施設数	0件	20件（H27～31）
着地型観光商品利用者数	533人	1,500人以上

《具体的事業》

- グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進
- ウオーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進

- ワールドトレイルズカンファレンス事業
- アロハカーニバル事業
- 天女のふる里づくり事業による東郷湖周の魅力創造
- 温泉水を活用したスッポン養殖事業
- 温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開〈再掲〉
- 観光関連施設情報環境（Wi-Fi）整備事業
- 名探偵コナン・ミステリーツアー事業
- 水明荘経営改善事業
- 観光施設等への外国語表記推進
- 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進（広域連携）
- 教育旅行のメニュー開発事業

### ③商工業の振興

#### 《具体的施策》

- 事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援
- 地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進
- ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進

#### 《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
支援制度を活用した起業数	3件	7件（H27～31）

#### 《具体的事業》

- ゆりはまじげ産業支援事業
- 里山オフィス開設支援事業
- チャレンジショップ支援事業
- アロハカーニバル事業〈再掲〉
- 家業継承者支援事業
- ふるさと名物応援事業
- 環境創出プロジェクト事業
- 港の資源振興事業〈再掲〉
- アメリカ合衆国ハワイ郡との姉妹都市提携を活用した商品開発
- 中学校統合に伴う北溟中学校及び東郷中学校の跡地利用計画の策定等

### ④雇用の推進

#### 《具体的施策》

- 地場産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出
- 就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進
- 高齢者の経験や知識を活用した就労の支援

#### 《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
支援制度を活用した雇用者数	2人	10人以上（H27～31）

《具体的事業》

- 看護師、保育士奨学金助成事業
- チャレンジショップ支援事業〈再掲〉
- 雇用促進奨励金事業
- 就職関連情報提供事業
- 中部圏域への企業誘致推進事業（広域連携）

## 基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

安心して子育てができる環境を整備するとともに、出会いと、子どもから高齢者、障がいのある人など、すべての人が笑顔にあふれ、いつまでも健康で生きがいの持てる安心、安全のまちづくりを推進します。

●数値目標（平成31年度）

指標	数値目標
合計特殊出生率	1.95
出生数	160人（年間）

●基本的方向

- 全国的に急速な少子化が進み、また、家庭及び地域を取り巻く環境が変化する中で、安心して子どもを産み育てるための総合的な支援施策や福祉施策の実施を推進します。
- 共に支え合い安心して暮らせるまちづくりを推進するため、お年寄りや障がいのある人を地域で支える取り組みの推進します。
- 人との絆や地域のつながりを活かしながら出会い・結婚を望む方を応援します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①子育て環境の推進

《具体的施策》

- 安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進（子育て世代の経済的な負担の軽減）
- 妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化の推進
- 放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進
- 子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進
- 地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていこうとするふるさと教育の推進
- 仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
1歳6か月に到達するまで家庭で保育する率	62.2%	88.4%
第3子以降出産数	27人	150人(H27～31)

こども園待機児童数	0人	0人
自主学習の広場利用者数	小学生 0人 中学生 0人	小学生 280人 中学生 100人
故郷で暮らしたい児童の割合（アンケート実施）	—	70%以上
鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数	12社	22社

#### 《具体的事業》

- 家庭子育て支援事業
- 多子世帯保育料軽減事業
- 第3子以降中学校卒業祝金支給事業
- 子育て世代包括支援センターの整備
- 不妊治療費助成事業
- ファミリーサポートセンター事業の充実
- 18歳年度末までの医療費助成事業
- 病児・病後児・夜間保育事業の拡充（広域連携）
- 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進
- SNS等による子育て支援情報の提供
- ゆりはま自主学習の広場事業
- 学校支援ボランティア事業の推進
- ふるさと教育の推進
- 小学校社会科副読本作成事業
- 児童生徒の英語コミュニケーション能力の向上
- ワーク・ライフ・バランスセミナー事業

### ②地域福祉の推進

#### 《具体的施策》

- 地域や個人に密着した健康づくりの推進
- ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進
- 保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る
- アクティブシニアとして、町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進

#### 《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
介護予防・健康づくりリーダー養成者数	0人	100人(H27～31)
CCRC事業に参画する民間事業者・団体数	0団体	27団体以上

#### 《具体的事業》

- 介護予防・健康づくりリーダー（ゆりりんメイト）養成事業
- 歯・口の健康づくり推進事業
- 健康相談・健康教室等の実施
- 鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携
- 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進

### ③結婚の出会いの場づくりと情報提供

《具体的施策》

- 結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支縁員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進
- 出会いや交流機会が広がるよう、広域連携を含めた出会いの場づくりの推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
結婚支援事業による婚姻件数	1件	5件（H27～31）

《具体的事業》

- 縁結び支縁員事業
- 婚活イベント事業（広域連携）

### 基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

豊かな自然環境を活かしながら本町の魅力を発信し、都市部からのひとの流れをつくとともに、町民一人ひとりが積極的にまちづくりに参画し、町民と行政が連携・協働してまちづくりを推進します。

●数値目標（平成31年度）

指標	数値目標
県外からのI J Uターン者数	850人（H27～H31）
転入転出異動	H31年度均衡

●基本的方向

- 超高齢化の進行や社会情勢の変化により、人口減少・空き家が増加していることから、町の魅力を積極的に発信しながら、移住希望者への支援体制を整備し、移住定住を促進します。
- 生活様式や個人の価値観が多様化する中、今以上にコミュニティの醸成を図るため、町民や団体が主体となって行うまちづくり活動を支援します。
- 地域住民が主体的・意欲的に取り組む地域を守る防災体制づくりや、だれもが参加しやすい拠点づくり、基盤整備を推進します。
- NPO法人、ボランティアグループの育成を図り、各分野における住民参画を促進します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①移住定住の推進

《具体的施策》

- 多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やI J Uターンの促進に向け広く本町の魅力を発信
- 若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進
- 空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進
- 移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る
- 鳥取大学等との連携による「地（知）の拠点COC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
空き家バンク成約件数	3件	25件 (H27～31)
若者・子育て世代の移住件数	0件	55件 (H27～31)

《具体的事業》

- I J Uターン促進事業
- 空き家情報バンク活用促進事業
- 空き家対策事業
- 移住定住者住宅支援事業
- 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業
- 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業
- 三世代同居等支援事業
- 移住者運転免許証取得支援事業
- 住宅取得仲介報酬助成事業
- 鳥取大学等との連携による「地（知）の拠点COC+」事業の推進
- お試し住宅運営事業
- ふるさと奨学資金貸与事業
- 「生涯活躍のまち」湯梨浜町版CCRC事業の推進（再掲）
- 町営住宅の若者向け住宅とCCRCによる高齢者住宅の改修

②まちなぎわい創出や拠点の形成

《具体的施策》

- 町民や団体が主体となって創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援
- 災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進
- いつでも、誰もが集える拠点を整備するためバリアフリーなど環境づくりを推進
- 分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進する  
ほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る
- 山陰自動車道（北条道路）の観光・企業誘致への活用及び緊急時、福祉、健康対応のためのユニバーサルデザインによる道路などの基盤整備を推進
- 地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興
- ICTの急速な進化がもたらす社会への対応
- 地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進
- 温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用を図る
- 環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進する  
ほか、住民参画による行政推進を目指す
- 観光地周辺の道路などの基盤整備を推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
新規自主防災組織取組件数	65件	75件 (H27～31)
集会所バリアフリー件数	0件	25件 (H27～31)
小さな拠点の数	0地域	1地域 (H27～31)
温泉熱エネルギー利用施設数	0施設	4施設 (H27～31)
NPO法人、ボランティアグループの数	36団体	47団体



《具体的事業》

- 地域おこし協力隊事業
- 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援
- 防災対策特別強化事業
- 小地域拠点集会所等バリアフリー事業
- 買い物難民対策事業
- 小さな拠点事業の推進
- 山陰道からのアクセス道及びユニバーサルデザインによる基盤整備事業の推進
- 温泉熱を活用した農業・観光分野の2次利用への展開〈再掲〉
- ICT推進事業
- 観光地周辺の道路などの基盤整備事業